軍餉不足に

雜軍背叛

蔣氏の革命破滅

が関いる。

なな場合べきロンドン會 一尚本日イタリー

群雄割據時代

る惧れある爲め前日來國氏は張敬良氏と囊回電機を往復した結果能入今明日中に和平原北平十八日發電」唐生智卓の唯浦線移動、西北卓の進出、韓、石陽章の軍事行動等は

取と認め時局和平解決の爲め蔣介石氏に對し婉曲に下版に勝對反對し個人の權利は總でを牺牲となし各軍一致して中央政府を頻響しな、其內容左の如し

心順數制限と潜水艦制限反對

院で説明

## 反對氣劑

首腦會議 未提議

るに意見の一致を見、確ちに其皆打電し信職地を開京北平何れにす

閻張兩氏和平通電

られてゐる『寫實は將氏』



政界淨化と同和會

変れた意見ならば

に採用實行する

昨夜高級社員招待會における

本では、 ・ は、 、 、 は、 、

東京十九日發電 東京流園大學 東京第の山本長方博士、理際部の山本長方博士、同右田中四郎博士の町田院吉 博士、同右田中四郎博士の五数数 東京部の山本長方博士、理際部の町田院吉 東京部の山本長方博士、理際部の町田院吉 東京部園大學

設権費(定

は直車いち夫

は、何と云つてもえらい。 は、何と云つてもえらい。 で、世東の危急を使くまで機械的。 で、世東の危急を使くまで機械的。 で、大変勢を増加し得たの

那側、南京領事に

にのきばいいたとのでは、 では、大レマン問題に はでは、大レマン問題に では、大レマン問題に では、大いでは、大いでは、大い海がに を駆ける旨十八日本政府の自義を では、大い海がに のは、大い海が では、大い海が では、大い では、大い では、大い

堀氏に決定

を希望

島職書一人であらうと のばいかる丸にて上京すること (城石満獺總裁は態々二十一日出 ▲工藤九郎氏(取引所員) 同上連 阪中十九日入港ばいかる丸で鎌寺島由松氏へ蔣耀羅託祭護士)上

櫻井遞信局長發表

遞信新規事業費 八十五萬圓承認

休養増加と中幹部の養成

(連汽船株式會社

田長官を謝して、過日市会で可決 「本社長は十八日午後五時太 「本社」とは、「本社長は十八日午後五時太 「本社」とは、「本社長は十八日午後五時太 「本社長でのであり、又談の際に関係して成立」と した総査委員會も亦合忠がよう。 した総査委員會も亦合忠がよう。 ことが、「本社長は十八日午後五時太 「本社長は十八日午後五時太」と 官廳としての救電を加ふる冒触版を加るが故に共に残職し続いと纏々験を加からた上で監督を開きるが故に共に残職し続いと纏々験を加かる冒触版を加かる冒触版を開きるが故に共に残職し続いと纏々験を

太田長官、陳情聽取後

は、民政署長、古野同地方概長附氏も 長官、内称高長、水谷地方職長附氏も 長官、内称高長、水谷地方職長附氏も を敷見を変換したるのち総高限が進 な底底度をとることよし妥當り其體。 な底底度をとることよし妥當り其體。 は、大大連 な底底度をとることよし妥當り其體。 は、大大連 な底底度をとることよし妥當り其體。 は、大大連

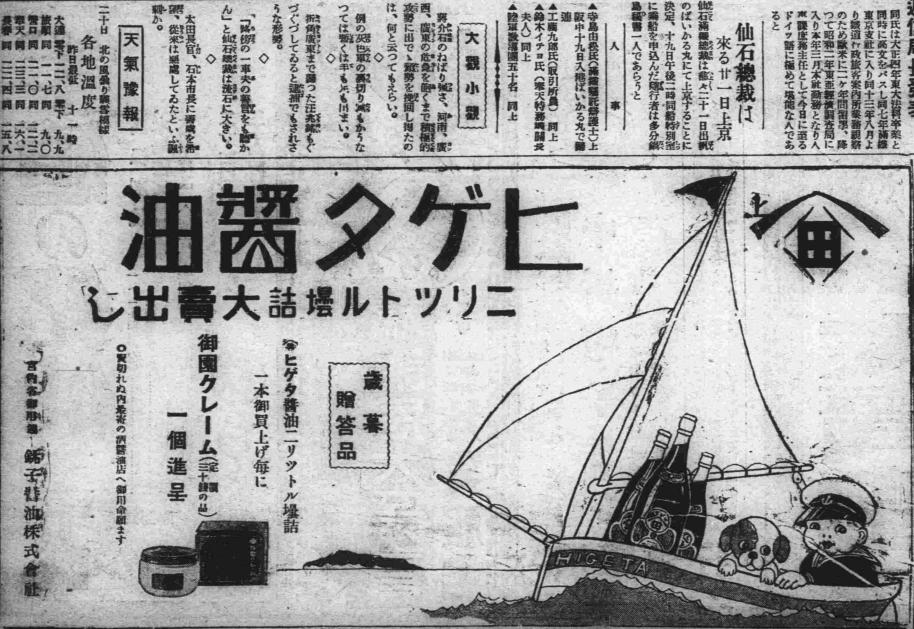
石本市長に對し 善處を希望

東京、 企来は 悪魔して るたとい ない を か。 天氣豫報

以方省三と「る」とは 北配の任為であると語彙を をの災害へれやり 記録はとり 記述に

露支兩全權

廿一日頃着哈の豫定



雅妙端切大見切品其他優良羊毛水布 一枚 童童より

日(十曜) (自午前九時) 格安斯品をも多数相加へ特別勉強仕の候

一時継続された保機器一切振院するやり収認に懸念して來た、之がため既似が貢献は十七日全體合識

士月十

製品大量廉賣

と格安斯品をした とのではり食」社直接年末特賣致候 を顧上候 と多数御買上げを蒙り難有奉深

野黨の宣傳

(大連との公衆電話及び滿簾歌用 行せず、同所は全然孤立に降り目の上日」は大連との公衆電話及び滿簾歌用 行せず、同所は全然孤立に降り目の電話ともにべ通となり、しかも 下の呼吸では電線の復輸にも相當の船が不定期船として通つては の時日を要する模様である

び小橋氏を 筒前文相は十九日午後一時不起訴と「九日發至急報」司法首腦部會議の

同時に總長室で密議

年前九時より首脳部會議を開き何 かと見らる。一方線長室には小山 かと見らる。一方線長室には小山 かと見らる。一方線長室には小山

師走の街頭に

ジョーンズ、ウイリアムス氏とゼ 対面に向け約六千里無意望飛行の 対面に向け約六千里無意望飛行の 対象し、南アフリカのケープタウン

同情のお餅

年末御手當の御下賜金で

難破かか

臨所編玉代は五側、郷政花代一園 一間七名は十八日夜事務所 一覧館に東合種々協議を取ねたが大

をつかむべく収職を進めて、外職氏再召喚の内容はた、小職氏再召喚の内容はた、小職氏再召喚の内容はた、小職氏の供述の成立と符合せるので小概氏の供述の成立と符合せるので小概氏の供述の成立と称となる収職を進めて

## 健康勝れず 台喚延期を請ふ

咽喉を害し鎌倉の別莊に 静養中の山梨大將

**農恰も畏き過りから年末御手當を大君大臣に御下賜になつた芳子。川中文相夫人かま子等と話し合った處何れも大饗成の** 

立て、ゐる夫人の耳にも強い響きを與へ

幕の街頭に充つる深刻な不景氣の叫びは 四大臣夫人の美學

九十四噸)は表月十二日旅順へ向 する模様である かぬ 富士丸 大連繋に出頭保安度 かぬ 富士丸 大連繋に出頭保安度

たが、近日中に具體率を作戦大連署に出頭保安係の意向を大連署に出頭保安係の意向を

の好い単生である

國際列車の運

史に嚴重

平天の領事團より

張學良氏に

交涉

在哈領事

の緊急會議

ので此の有職さ金一封の皇恩を御分ちする意味で麻布區内に住む聲しい人々四百人とのし飛を御分ちする意味で麻布區内に住む聲しい人々四百人とのし飛を心

説に関して民政黨では左の如く稱

襲撃の手を関すのは氣の声と四大臣夫人連自ら街頭

世、 ・ 一八日チュニス(南阿)官衆より ・ 一八日チュニス(南阿)官衆より ・ 一八日チュニス(南阿)官衆より ・ 一八日チュニスの南に墜落大 ・ 一次の南に墜落大 東北岸五十里のとこうで加る機は十七日午後四時サルデニア島 キンス飛行中尉搭乗の職業飛行

加立に陷る

電話線は不通こなり

海上連絡も杜絕勝ち

汽船引返す

寺見薦修殿倉庫中の武器十順概込 お 高州里に居住せる日英米職の各國 満州里に居住せる日英米職の各國 満州里に居住せる日英米職の各國 満州里に居住せる日英米職の各國 満州を保証の では 一个月に 12 物で

株無しと膨明してゐるが、勢 を保ち、國際列車の運行を浴 を保ち、國際列車の運行を浴 を保ち、國際列車の運行を浴 を保ち、國際列車の運行を浴 がある以上内外人の通信 がある。

縊死邦人の

日本が歴史を開
下なに主東
取い、達着際 身許判る

出外のみ休豊お

時間の動きが又變つたも

製造 したのでは、

無事に航行中

一足炭補充に

人輸送計畫

一日に千五十車以上を輸送

撫順は積雪で作業難

十四日であるのに今間何等で

老虎灘

も値下げ

土丸は南東角五海里の地路を南下東、日清汽船倉電運出山丸より「富産促したところ十九日午前十時東を促したところ十九日午前十時東を促したところ十九日午前十時東の地路を南下

『東京十九日發電』第で大宮電緩 関際に関し管機数数で東京地方数 間際に関し管機数数で東京地方数 で東京地方数

英航空司令

墜落慘死

訪阿飛行中に

等の消息 ところあった ではその冒職係名方域に通報する ではその冒職係名方域に通報する

料理店組合で協議中 市内乃木町七人人 徒根本学明書は 神水上響で大下町で大が 前水上響で大下町で大が を加へて二岬で大が を加へて二岬で大が を加へて二岬で大が を加へて二岬で大がその でたがその でたがとして 金 献金の話 氣持の良い 

の値下問題も該々無事解決を遂げれてるた三紫組合

松判を変数で

狂言强盗の訴

電したが満級燃が氏が十九日一行を代表し断吟するので前方の形勢に関し緑織報告を贈き其結果にる支那艦の無後の国客を得るため奉天領事際に張學良氏に嚴重交渉方依賴を決議打てハルビン特電十九日命』在哈領事艦は十八日緊急會級を開き國際列車の免疫河以西港行交渉に数す 

問

十五日現在に於て 特急架設數一三二例、客附別通 數一、五人五個、市內專用別設 數七四個、直接加入電話。通數 一六個、響懈電鈴架設為入個、 一六個、響懈電鈴架設為入個、 一六個、響懈電鈴架設為入個、 一六個、響關電鈴架設為入個、 『の本年度電話墻設狀況は十二月『の本年度電話墻設默況は十二月 電話の増設數

モスリン着尺全部特價提供

モスリン友仙大特價提供

(大中)尺北鉄了

(三月五中銭3り

酌清御なか豐味情

時報は自然主観で明二十日午3四時報より解析会議主観で明二十日午3四時報の新生職」の題下に在37年時報の新生職」の題下に在37年時報の表記を発送している。 加に比較すれば八百三個の増加での多数に上り之を前年度同期の増 専門店

エント

ナニ月ニナニ日まで 大値下げ品。金波古濱裏網類凡て今迄にない大投賣です 産地 圓則後の處 大連市イワキ団

備へた適品でございます、特にウェルドルグマンの新春の御召用として推奬申上げます。その他く迄も高雅に成は瀟洒に卓越した技巧とスタイルは一見してそれと頷かれる気品をともに英國帝室の御用帽子會社として世界的に名際高く斯界の双壁と謳はれて居ります、 英國最高級の ルマンの御召用として 二割引の イグギ町 **京** 株 株 倫敦スコット會社製 聯合皇京品表 帽 新着

商品券

三井の

お置 あ買物には共通商品券の御利用を願います

モスリン風呂敷特價五十五銭・一円・の二四代鉄

新モス質用いろしき

十八銭

二十五銭

三十五钱

色モスリン・二百種の色ぞろび

(大中)尺光八

ル友仙全部大破格

(大中一尺八銭为

つゝあつたが本年に入りては職 も献え減少し殊に二月一日から を記録としい数に上り二月に入 ですら別様き ながら別様き ながら別様き

内内室町東板ビル機内所事の事物 引受けて異れと云ふ話は以前か らぬので

度の 判 が は か も あ も あ つ た し す るの で と う / へ も 行 っ た 事 が な い か ら こ う 云 ふ 声 い か も 行 っ た 事 が な い か ら こ う 云 ふ 声 に は 子 が れ 本 的 の 問 類 と し て は 自 分 の 考 へ も あ る が 何 し ろ 清 洲 に は ま だ 一 度 か が 根 本 的 の 問 類 と し て は 子 で の 経緯 も あ の で と う 、 今 ま で の 経緯 も あ の で と う 、 今 ま で の 経緯 も あ の が 根 本 的 の 問 類 と し て は 矢 張 り 所 が 根 本 的 の 問 類 と し て は 矢 張 り が 根 本 的 の 問 類 と し て は 矢 張 り が 根 本 的 の 問 類 と し て は 矢 張 り が は 本 が す 現 じ た 万 が す 現 じ た 万 が す 現 じ た 万 が す 現 じ た 万 が す 現 じ た 万 が す 現 じ た 万 が す 現 じ た 万 が す 現 じ た 万 が す 現 じ た 万 が す 現 じ た 万 が す 現 じ た 万 が す れ い 、 だ

ることだから急にその機會が熟するかどうかは判らないがこんな問題は満洲財界の前途を考へお互に自我を捨てゝ譲歩しあつたら必ずしも不可能のものではあるまい、十三日株主に通知し二十八日總會で軍役更迭の決定を見る筈である、其上就任を承替する順序となるが何れにしても之れは豫定迪りに進行するだちう

方面の質情も聞いたし熱心な聴した然し色々の

A·E·Gの外資輸入に

商敵シーメンスが攻撃

◇…我々は外國と ッ人の水子は外國と ッ人の水子は外國と の意の儘には動く しも船主や乗組員の 非ずして、假面を能には動く まい、それだけな である萬が一にもな 非ずして、假面を被 非ずして、假面を被 非ずして、假面を被 が賞は單す なを扱う。

◇…外國人に一寸厢を貸した計りで母展までも奪られたらそれこそ大殿である、我等の先代シーメンス氏は斯ふ遭調した、目前を見るな、遠い將来に眼を注げを見るな、遠い將来に眼を注げを見るな、遠い將来に眼を注げのために準備する所があられる。公して大殿舎を収め外人の長略があららドイツの産業を収め外人の長略があららドイツの産業を収め外人の長略がある。このさく)『在伯林塚本義

り露っ男牧賞年改で

動の海外材料としては倫根地安に

概
態
繋
の
静
査
お
を
化
は
さ
形
さ
金
け

解償は歌声を呈してみの一と、八分の一と、八分の一と、八分の一と、八分の五と、八分の一と、「四分の一と、八分の五と、八十十六分の五と、八十十六分の一と、「同事)米日は四十八仙八分の一と、「同事)米日は四十二十四弗十六分の一と、「同事)米日は四百三と、「日事」と、同事)、日米の一と、「同事)、日米の一と、「同事)、日米の一と、「同事)、日米の一と、「同事)、日米の一と、「同事」を発している。

「東京特電+九コマ」五品の後任 連の豫定であるが氏は東京市丸の 連の豫定であるが氏は東京市丸の 連の豫定であるが氏は東京市丸の

なるにもがらず

ものをつくり他配院下り というでは、一は高家者が手がが要地に陥離して、 一は高家者が手が近地に陥離して、 かまる は、 一は高家者が手が、 一は高家者が手が、 一は高家者が手が、 一は一は一般では、 一は一般では、 一般では、 一般では、

市場振興の根本策は

矢張り二社合同だ

自我を捨てたら不能であるまい

五品理事長に内定せる。

櫻内氏語る

たが脆くも敗れた一因をなしたも のである

日の生産高は六萬六千七百五十枚の機少である、十二月一日現在 のハルピン及東支巡線の油房鉄圏 の加ピン及東支巡線の油房鉄圏

では、これを総称に近く真ったが、これを総称に近く真を調立し出来得れば水年中にを調かて近く真

市

况

11九五

紹介所 愛知縣物産

各品品騰

俄に活況

東部線の開通

四年續きの不振

華商が共同仕入

満洲には珍らしい

消費組合 對策協議 会 八公式以一市 場の資上高は十一月中の公設元市場の資上高は四十萬一千二百八十圓にて前月に地し七千六百十圓の滅である。市地し七千六百十圓の滅である。市場別資上高を示せば左の通り(單位圓)

千代田町市場 小崗子市場 小崗子市場 小崗子市場

11千二百二十八圓と何れも減少河口市場百三十五圓と各増加を告てある 東支の大洋は 留建

東支護道理事實に於て研究中でつた東級の收入を現大洋建に改する素は大陰の決議を終り火年建に改するが、東支の實質的原理を終り火年を表したが、東支の實質的原理を表したが、東方の政策を終り火年を表したが、東方の政策を表したが、東方の政策を表した。 

二九六〇百箱 二九六八三事 二九八六千枚 二九八六千枚 二二五事 二十十 一千枚 一一千枚 一一千枚

日本製粉網会 の神管に移つてより三 時株主總會を開き即 であるが、 であるが、 であるが、 であるが、 であるが、

友親

人戚

の三年版りの初か、一日歌の作を附 を開設は三十六日 初では二十六日 初では二十六日 初では二十六日 の作を附 りの初

仕遂に代土氏

三二麥 二二二二旦岩生梨 三世 | 香葉元宝空 800 二二二<u>章</u>指生 | | | 本宝堂哥公司

常安寺にから

升來出に軽手が一レカスイラの上最 いさ下べらくおミ品他度一

木 棉 袋 入 り

商登

か良くて値が安 が良くて値が安

品

般银行業務確實に御取扱可

大安高

東地市况(計九日) 東地市况(前九日) 東東地市况(前九日)

大連商業銀行

豆新

東京株式 東京株式 東新株 111100 11000 東新株 111100 11000 東新株 111100 11000 1000 11000 11000 11000 11000 11000 11000 11000 11000 11000 11000 11000 11000 11000 11000

五品

會 社 大 連 市 西 大

熊岳城温泉へ 日自動車の便あり出半額 [日通用 國の爲に

番七二長話電

特産市場は 取引頓に増加

大豆 は昭和三年十月即ち農 代育取別高は四五千事を中心として一進一談ありしも之れを通覧して一進一談ありしも之れを通覧した。 一割見 第四 と見らる… ◇ ・・・ 一割見 第四 と見らる… ◇ ・・・ 一割 見 第四 と見らる… ◇

は、 たて銀安と相依つて七回五十七章 を大日本とのでは、 は、 たて銀安と相依って七回五十七章 と大日本とした月限に と大日本とのでは、 と大日本とのでは、 と大日本とのでは、 と大日本とのでは、 と大日本とのでは、 と大日本とのでは、 と大日本とのでは、 としたのでは、 というには、 といるには、 といるに 以来の高直を記述 とし九月限に とし九月限に

かこれは時宜に施した老へで での整理及び管理のためこの をの整理及び管理のためこの をの整理及び管理のためこの

000數

毛皮外

御重 監部通 詰 13 0 御 ろは 用 命口

期日十七日より前八時まで

好套®裏、ロシャ 帽子母\*、御婦人 ルビンより 人の毛皮シ " 御婦人毛皮外を リ色々

奥町二五

毛皮大賣出

文に應じます。本年は特に日本人料理師を招じ材料を選び大勉强にて御註本年は特に日本人料理師を招じ材料を選び大勉强にて御註 電話士士九六番~ 术

吹きすさが頃。こうこ

これがあるから御安心 あなたの味がヘチマコロンリ

細かに艶をよくし白粉のとき いつも美しく保ちキメを 5 お髭動のあとによい

水 から發明し た 化粧水

風に荒れるお肌を



十九日対切 北が映響との堤塊なる 黑 江 順作·阿色·監察 下,可

性 病 物各州东 是意法这明一丁口 醫院

▲州奈陀ニールソン會社製

ニールソン・板チョコレート二打入各種

淡 尿 器 器障

クリスマスのプレセント 年末年始の御贈答品

インター・
インスのアンレセント
インター・

へ致します、御安心の出来る品と別なり。 中味變質の場合等がありましたら何時にても御取替中味變質の場合等がありましたら何時にても御取替の品であります。萬一八

0

一大の で三名を がで三名を がで三名を が変子共演

氢

1

化粧箱入

チョコレート取合はせ化粧箱入各種変のマーレー自社製

容

新 突 し 八

新中大 獲賽 四三五十十五十十五段段段

ちまの

由

井

矢郷空の大

政友の對議會策 議會前の諸會合を決定

明 と述べ、疑言前の融合合を左の如 大決定して同二時三十分散音した 十二月二十日午後一時政務調査 飲會 ▲同二時三十分散音した 十二月二十日午後一時政務調査 飲會合▲同二時三十分、所務調査 大決定して同二時三十分散音した 十二月二十日午前十時幹部 を含合▲同二時三十分、所務調査 を含合▲同二時三十分、所務調査 を表記した。 本記した。 本記した。

日午後一時から本部に幹部會を開

露支交涉 叉も停頓か

脚全閣を解し節途殿警の緊張である。 「神教者の離放等に意見相違して体観の様子である。 真線駆氏は安 神教者の離放等に意見相違して体観の様子である。 真線駆氏は安 神教者の離放等に意見相違して体観の様子である。 真線駆氏は安 双方の意見一致せず

南下激減

頭から反對され

祝務委員會お

近く招集の諸委員會の

連命如何

市當局は

ウ出る

旅電に 降るものと思はれるそれで市業局が楽して確定調り

反蔣運動

とあるので意見書を承認せざる以 とあるので意見書を承認せざる以

変公使小橋西吉氏は不遜低者 に同氏の水低を短掲するに狭定し京十九日観電 本日の中央政 なりとして日本政府に向つて正式

國務會議で正式決定

對露問題は失敗なりとて

反張學良熱昂まる

着任を拒絕

小幡公使の

心よ王正廷氏

解意を固めたか

昨朝、突然上海に現る

小幡公使問題で更に苦境に

駐日支那公使に

アグレマン督促

きのふ幣原外相より

本が概公使に繋するアグレマンを 能は素圏脈に繋して損壊の賠償を 昇格する 歌りであると述 で支和不戦解を影開始と共に支那の調査 敢行せしめんとする目的。 の駐訴を見て東部線の運の 

支那動亂の中心 津浦線方面に移る

便のアグレマンが未だ國民政府東京特徴十九日發』小橋新駐支

米ないので幣原外相は本日午

布哈圖以西は

全滅の惨狀

支那兵の掠奪に遭ひ

LI圖、林森、强源// 氏寺在京 《南京十八日發電》古岬芬、 張發奎軍

で進撃し渡来の郷回も日前に迫る **夏料彈藥缺乏** 

信陽へ進

唐范兩軍は

き圧総職氏の驚難を受職するためには正氏度分問題を を破験し態期分を出すに決定し其 を破験し態期分を出すに決定し其 を破験しき期からを出すに決定し其 を破験しきませず合採的ではないが北方と に遊せず合採的ではないが北方と をしませずるためには正氏度分問題を をしませずるためには正氏度分間と を表した、本日の創業は混定数 を表した。本日の創業は混定数 を表した。本日の創業は混定数 を表した。本日の創業は混定数 を表した。本日の創業に決定し其 を表した。本日の創業に決定し其 を表した。本日の創業に決定し其 を表した。本日の創業に決定しま

一直に再識に付すべしと強くもう ・ 直に再識に付すべしと強くもう。 ・ 直に再識に付すべしと強くもう。 国 東 藤野子 (十六日叶) 後七位動七等 中村 廣喜 後七位動七等 中村 廣喜

遼寧外交協會 意見を王正廷氏に打電騰鵬する處職として辭去しこれ等幣原外相の むと希望を述べ汪公使は之を

一切は濱口首相の方寸に一任

止々堂々斷行されん

日より治外独職を撤職せんとする怪代する處あつた、尚明年一月一

小幡氏反對運動

王正廷氏反對の反射的行

進行交涉 今日のプログラムは総るはずであ 明年度各

奉天遼陽間 奉天遼陽間 特別會

一千二百餘萬圓

二二、九一四

四二、六八五五二、六八五五

別豫算を示せば(單位千圓)

補充金と

公債發行計畫

決議意見書と

石本老市長

監督官廳の指揮を仰ぐか理由を示して再議に附すか

一人六、五六七 五二、一人五 五二、一人五 八六、二一五三〇、四四七三〇、四四七

五、二一七

電歌明年度電景に於ける神充金、 会情發行散動はたの如く決定し借入金は全部中止された 一五、四七四、〇〇〇 開場・州 四、〇〇〇、〇〇〇 中 本 一、六〇〇、〇〇〇 中 本 一、六〇〇、〇〇〇 中 本 一、六〇〇、〇〇〇

たと傳へられてゐるが、當の市長 して之を再議に附することになっ 恵思なし といつてゐる。 恵思なし といつてゐる。 市場は其意見に依り又は張脅 市場は其意見に依り又は張脅 で表現の解限を超え又は法令/く を明義に強反と認むるとき に依り理由を示して

叙正七位

從七位勵八等 長谷川蘇郎

任 展東 機器 に 任 限東 機器 院 監 信 間 医 院 動 所 を 命 ず に 配 東 機器 院 動 将 を 命 ず に 限 東 機器 院 監 官 保下

文學博士

任關東州小學校訓導 通信書記 木邑 荒郷 

各所**参**拜

は出来る限り多大の軍

・右端邦に ※加松 章を表した。 ・右端邦に ※加松 章を表した。

学 は主に大阪省に於て立案される 学 は主に大阪省に於て立案される 格試驗合格者

大千代生命
日華萬歲生命
「大千代生命
「東京十九日愛電」八千代生命
「東京十九日愛電」八千代生命
「東京十九日愛電」八千代生命
「東京十九日愛電」八千代生命
「東京十九日愛電」八千代生命
「東京十九日愛電」八千代生命
「東京十九日愛電」八千代生命
「東京十九日愛電」八千代生命
「大日川称上の打合せその他のため」と
「東京十九日愛電」八千代生命
「大日川称上の打合せその他のため」と
「大田・一方・一方・日本 真 歳でも午後三時より本 本秋十月一日より 貫施された新民 一方 日本 真 歳でも午後三時より本 である

租民地

0000数

移戦の歌可申職のはずで移転監査 切の体止を行ひ直に商工省に処数 切の体止を行ひ直に商工省に処数

大大大 大五〇 大五〇

水原小型 水原小型

大大大衛期九〇〇 五株 三三 西三〇 米〇〇〇中島式〇〇中

〇一一一東 九〇〇〇 〇四四三新 〇〇〇〇

本本本一本一二後 〇〇二島 〇 七五九引 申申申〇〇〇〇

一年書店に不便の方は「へが」 本紙を見て見本請求の方に限

一五五九三五七 〇七八九三八〇後 一七一七九四九場 〇〇〇〇〇〇〇引

始開本配回一第 切品忽到殺込申 究研道書本日 者 蔭 高 山 岡

山原好評

校その他"蹬小屋に至るまで焼き は依然や明であるが、同地も支那が兵に掠撃され数會、解院、小塚、ハイラルの住民内外人一萬の消息、即兵に掠撃され数會、解院、小塚、ハイラルの住民内外人一萬の消息、から、「他と対した船大で戦争を揺め、支那兵のり、他した船大で戦争を揺め、支那兵のり、他には、「他の対した船大で戦争を揺め、支那兵のり、「他の対した船大で戦争を揺め、支那兵のり、「他の対した船大で戦争を揺め、支那兵の対した。」

証の経験は小幅氏の財変を開発したが正公使は小幅氏の財産が開発を特出さらとするものでもなくないが日支関係の重大性に鑑みないが日支関係の重大性に鑑みではないが日支関係の重大性に鑑みでは、が明下関係の重大性に鑑みであるため低く学たれたくがあるため低く学たれたくが、

**支那公使** 注祭費氏を外務 省に出職を求め約一時間半に亘り

南征雜錄

相民地建設と 出た関
、 は、 道を求めて再属に新天地を観 まするにあるが、その食味に於て は、 道を求めて再属に新天地を観 なため、 ない食べき地域を硬見するに於て は、 では、 では、 では、 では、 ででは、 でででは、 ででででででいる。 でででででいる。 ででででいる。 ででででいる。 ででででいる。 ででででいる。 ででででいる。 ででででいる。 ででででいる。 ででででいる。 でででいる。 でででいる。 ででいる。 でいる。 でい。 でいる。 でいる。



(63)

は石、其値は斤にて算定)

『吉林發』當地支那館の報ぎ

産婆 下鳥トミ トミース 大人へ 電話六六八人へ

**無見** 與科隆色

田科警島

モミ 擦治側好みの方は

青陽 ・網大連二葉町大〇 ・開語四六九二番

淋毒 性黑丸炎 餘灸

電話三〇四九番

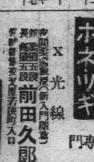
丁銭の射得である。土地の價格院し、管理競益金二百四十五順 し、葦彫瀬益金二百四十丘町一千四百三十一間三十六銭を

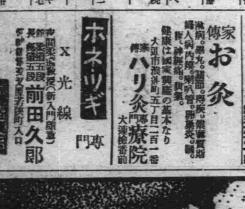
官芸農村 の獣野を立てる ・ は新に内地からの送遺者を加へ、 ・ は新に内地からの送遺者を加へ、 ・ は新に内地からの送遺者を加へ、 ・ は新に内地からの送遺者を加へ、 

フョウ品高價質受御報を上市外当場可ごつ 女光堂 イワキ町 新古渡 電七四三丘

変れ セシカワ郷同 電話は七八九三番へ

クサ 及韓電の特 クサ 及韓電の特 及連町五丁目二百一番 及連町五丁目二百一番 貸衣 Samman 新一たじまや電六次つ二番







対二千町歩を東城が主となって、 西城を中心とする海岸の臓器地部 医安東發』鴨総江下流暢乾岸の場 海緑江の 下流に めて居る、右網落地群は下正十二年々攘大しつよあるの係者に於て其の具體的無抄につと れ路波地配は つよあるの 、拓が力瘤を入れる 朝鮮岸の崩落地を利用して

顧みる時

國民政府の

洲

H 報

質は一町歩約八十川見 高として 可要は稍決定的に 選んで居るが

は特に係員を派滅や縣に命令し同應 でも優勝を派滅や縣に命令し同應 でこととし、整護際に命令し同應 は特に係員を派滅や縣に派遣して は特に係員を派滅や縣に派遣して は特に係員を派滅や縣に派遣して は特に係員を派滅や縣に派遣して は特に係員を派滅や縣に派遣して は特に係員を派滅や縣に派遣して は特に係員を派滅や縣に派遣して は特に係員を派滅を解に派遣して

女給 募集時に後週す 大電楽協會まる 電ニー四つん 常報機 カフェー 不二 常報機 カフェー 不二

時偶々電支時局後生し省党

る旨復命したと

匪賊と整

言官が

探奪行爲

政から展罰密令

年額八十萬圓

こ云ふ意味の物金を酸したと云は 

**住家** 信機町電車通附近六量四 電出こうご 田部井

牛乳

パタークリーム

円書 - 東文學文タイプライター 大川適 - 小林又七支店

撫順製油の副産物

揮發油が取れて

の拾る物

清州里から興安量方蔵に が来たのであると語る、低氣圏は が来たのであると語る、低氣圏は が来たのであると語る、低氣圏は が来たのであると語る、低氣圏は が来たのであると語る、低氣圏は が来たのであると語る、低氣圏は がった。 では飲みためで類に現はれ でないては歌子の子類に現はれ でないると語る、低氣圏は でないると語る、低氣圏は 北満に嚴寒

平穏な満洲田

**貸家** 兒玉町洋館二陽建日本間

チチ モミ大連 電話四六九二番 鈴木丈太郎 電話四六九二番 鈴木丈太郎 電話四六九二番 大連市大山通 小

洋服頻當發 地一號後屋質店

物タクシー

引越荷物貨物運送 三〇季電八九〇日

年乳 たら大正牧場 に繋が八九龍七七七二、た写八五 原繋が八九龍七七七二、た写八五 中乳 大連牛乳株式會社 電話四五三七番

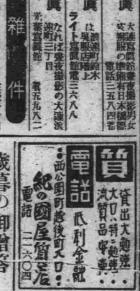
電話文(書政場) 日 | (本) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (\*\*) | (

門札 瀬戸物へ彫り込み 三河町二 池内 電八六七五 八連雪城町通五八 南原が高山 大連雪城町通五八 南原が高山 大連雪城町通五八 南原が高山 大連雪城町通五八 南原が高山 大連雪城町通五八 南原が高山 大連雪城町通五八 南原が高山 大連雪城町通五八 南原が高山 地形常行 電の18°でたた二 地形常行 電の18°でたた二

門水洋行

大連市吉野町二五

**電五四三九** 野中醫院



た、新聞紙に廣告された「原

満日案内

八三大連案へ世

写真 女郷殿の



流質品來 學 學 等 等 等

大連の無準行で人類を関した東京 作代子の三マネキン(無いない)を 十代子の三マネキン(無いない)を 十二日のコ曜日同店内でマネキン ドラマ(寸離)を演ずる事になっ で今回のマネキンは純東京式で真 で今回のマネキンは純東京式で真 で今回のマネキンは純東京式で真

徽毒菌保有者

ル割も居る

血液檢査の結果判明

撫順の日鮮藝酌婦

慈善團で救助せん

の か明春一月中に小河沿の體育會 電水の紛争による 観光者の追悼

野犬驅除開始

響にては之を取次で事となった 就金方申出でたので普闡店民政支献金方申出でたので普闡店民政支

前村岩助、金十圓民心へ彫堂高出九郎、

國債償還献金

四年度における

縣內水稻收穫高

四萬三千八百五十石

昨年に比し二割減收

普蘭店

か 人の影だに認めせなかったが、 七日夜歌の歌歌のおかげで麗河 地米三尺形変四尺に皮び衛島車 水上通行響歌をよったが、

付するか又は最内に緊ぎ置くべしてサカルるを以て懸犬家は犬札をとなりたるを以て懸犬家は犬札をです施する事

警官の轉任さ

して田が、原、鈴木の三巡査着社と 長春に咳酸を命ぜられ更に新伝と 東谷部巡査は旅順に原口巡査は 東京新伝と

公費豫算を可決

聯合會への議案を協議す

十七日の地方秀員會

最近は二百五十圓位

價格七周を窃取されその筋に届け

森洋行にマネキン

葬儀を簡單に

經費時間の節約を目標

新葬儀社設立計畫

たが 同席上決定
せる五年度 満出は四十萬六千二百三十四側に してその内跡は次の如し 本手敷料二萬九千九百六十一側 へ踏1収入六千七百七十四側、 へ踏1収入六千七百七十四側、 へ踏1収入六千七百七十四側、

を経大に催す由 を経大に催す由 を経大に催す由

町の便り

在宏新聞關係者を招待し張宴した日午後六時より浪速通交通販店に石近朝期銀行率灭支店長は十八

大に聯合地方委員會への機能より 年越には困らぬ 哈爾賓の日本商人 二十九日自宁前九時至午後三 賓

振はぬ暮の賣出

ペルピン最入戦合理事様田振識氏 は年末病人の状態につき を、南端方面では殆ど小質節が 中心となり大手筋の耐人は加入 してみないらしいが、哈爾賓で してみないらしいが、哈爾賓で

りないかと云はれてある 大な中がある無線が を変形を出手に三人組の攻勢な を変形を出手に三人組の攻勢な を変形を表す。 を変形を出手に三人組の攻勢な を変形を表す。 を変形を出手に三人組の攻勢な を変形を表す。 を変形を表する。 を変形を、 を変形を、

標準規格委員會

準備委員會を開催

|順問委員決定す| の陣容

に於ても國力之が調査を治したので奉天譽並に地方事物所 に於ても國力之が調査を治したので奉天譽並に地方事物所 に於ても國力之が調査を治したので奉天譽並に地方事物所 に於ても國力之が調査を治したので奉天譽並に地方事物所 選にあり人から同様されてある人に於ても極刀之が調査を進めてるに於ても極刀之が調査を進めてるに発することでその中最も哀れな疑い。 電話の相場暴落

一、満鎌沿線の各地に不動でを機合會出塞者は議長に一代することを設け登里教宗をの他の事項をを設ける自身則改正の件。 一、聯合會規則改正の件。 に関せしむるの件の に関せしむるの件の に関せしむるの件の に関せしむるの件の に関せしむるの件の に関せしむるの件の に関せしむるの件の に関する件 に関する件 に関するは、 で設け登里教宗を他の事項を を設け登里教宗の等。 内に同 家賃引下

神田氏の美學

大学である、何れにしても整体である、何れにしても関係に於ける共通協を整分の配案を決って職に於ける共通協を整分の配案を決ってをの事場に於ける共通協を整分の配案を決ってをの事場に於ける共通協を整分のを受験がある。何れにしても影響に高んである。何れにしても影響に高んである。何れにしても影響に高んである。何れにしても影響に高んである。何れにしても影響に高んである。何れにしても影響を決分を変かる。

来る廿五日は大正天皇祭。同廿九日は日曜なるも無順局は南日とも 年末一般へ衆の利便を計り特に左 金受勝事物を取扱ふと

町名の改稱問題 急速に具體化か

事務所でも考究中

新聞原機紊成式を製造に既認の如く ・ 本職長の機形、本職職無限長の工事 り美校理問を験成し総會理に六時 ・ 本職長の機形、本職職無限長の工事 り美校理問を験成し総會理に六時 ・ 本職長の機形、本職職無限長の工事 り美校理問を験成し総會理に六時 ・ 本職長、本職職無限長の工事 り美校理問を験成し総會理に六時 ・ 本職長、本職職を発展しませた。 ・ 本職長、本職職を発展しませた。 ・ 本職長、本職職を発展しませた。 ・ 本職長、本職は、本職を表し、主には、本職の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一点に、本職の一点に、本職の一点に、本職の一点に、本職の一点に、本職の一点に、本職の一点に、本職の一点に、本職の一点に、本職の一点に、本職を表し、まし、本職を表し、 十八日開原驛で舉行

盛大な落成式

出世

日より一月六日まで年末年始化学

電燈線の外

の如し 郵便局の成績

恒例に依る新年互融會は左の通り である。
一、日時 元旦午前十一時半 一、場所 小學校講堂 一、場所 小學校講堂 一、場所 小學校講堂 一、場所 小學校講堂 

を観到すると を観到すると を観到すると を観到すると を観到すると を観到すると を観到すると を観到すると を観到すると

犯罪の裏には必ず女性が勝んで の罪に間はれて冷たい損難に緊
がれねびならない運命に陷った
がれれびならない運命に陷った
がれれびならない運命に陷った
がれれびならない運命に陷った
がれれびならない運命に陷った
を開職した
がれれびならない運命に陷った
関職した
がれれびならない運命に陷った
関職した
がれれびならない運命に陷った
関職した
がれれびならない運命に陷った
関職した
の罪に関せた
がれれびならない運命に陷った
関職に 罪な夫持の看護婦 

と語った。協議組にでは今回試み た聯合大朧賣が成功であったため た聯合大朧賣が成功であったため 現金即賣デー

と實力があるか怎ちかは疑問だが 努力しては如何式もそれ程の信用 努力しては如何式もそれ程の信用

格よりウンと病野水る小二日から物を新たに取換へるため郷品を價物を新たに取換へるため郷品を價がある。 高井浦機会事は來る二十二日展 高のため約二週間の豫定で郷里兵 「本祖」 在するとをである。

の 土 〇八二チの 五 〇八三トの 六 〇八四ヶの 十 〇八六レの十五 〇八二ヶの 五 〇九二ヶの 三 〇九二ヶの 三 〇九二ヶの 三 〇九二ヶの 三 〇九二ヶの 三 〇九二ヶの 二 〇九二ヶの 六 〇八四ヶの 六 ○八四ヶの 六 ○八回ヶの ○八回ヶの ○八回ヶの 六 ○八回ヶの ○八回ヶの 六 ○八回ヶの ○八

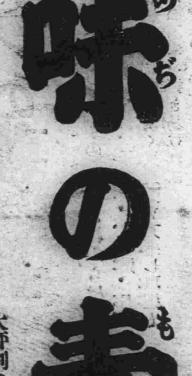
長野縣人會に各金一封宛宏体り香典返に替え安東本等

松四千圓原因は凝突の心完全からなくが四十分程で縦火した腹寒は 忌川客贈・安审旅館組合長元妻らしいと

戀に狂って

身を誤つた青年





調味に苦心は不要、 の効力に賴れ! 料理人得心 この一匙

それで經濟だか

使ふが最も賢い



新家庭日記

で使ひま もな

一商店

北極や南極は 冬 0 理 科

代りに、遊歩場のつもりですか、 がつけられてはるませんが、その いくつもベンテが置かれてゐます

わけなんです。

なのです。だから、そこは別に道 り、そこを通るのが一番のかみち ふちを通らればなりません。つま

お役所までに、私は大きな池の

てゐますが、これほど輝かしい上

れて、おもてに飛び出したと言ふ した。そこで、私も元気がつけら

- で行ったのであらうかと思ひまし、一覧時がこんなに美しい珠を落し、

雲にころびながら元気よく感校に んかっ ねは、靴のひもを結ぶのも成れ

H

しさでせらっ 私は今まで、いろく地上にあ

けて見ればみるほど、何と言ふ美 どの冷たさです。そして又、近づ どの冷たさです。そして又、近づ て、その美しい珠をつまんで掌の

目り

ところで、今年はよく雪が降りまいるですよ、まあ躍んで下さい。 ナね、だけど、題なんかどうでも

一郎。不思議ですね、それは、ど

ないが、地域が少しばかり低い 今南の方を太陽の方に向けてる

かっところが、夏と言つても、そ 一郎。では南極も今はそんなに駆 げしくて今零度だと思っても窓 見る時でも先づ歴氏の家庭位だれは名のみで、一世度が最も高く くはないでせられる

郎の吹舞などの時は部分表いで つたりするから中々油噌が出来 ち場下三十度にも四十 たが、それは今から十八年候前のことで、先づ之が人間の郷險 でも人間は死なないでせらか。

父。それが、不思味なことには吹きが起ると今まで零下五十度に も六十度にも下つてゐたのが健 に温度が上つて來るさうだ。あ る極地探検家の話によると、そ る極地探検家の話によると、そ 一郎の北極や南極で一番級い時の温度はどれ位でせらね。 温度はどれ位でせらね。 温度はどれ位でせらね。 が北極で河つた一番はい温度は が北極で河つた一番はい温度は るのだといふことだが、或はさ ないさうだ。ところで、ある人が地球の上の一番影さのひどいところと一番寒さのひどいところとどちらが境間にこたへるかを研究したが、それによると寒いさは人々の機械するほど身能にはこたえないさうだ。現に北極であるところを見ると、寒いかであるところを見ると、寒いか さへよければ死わやうなことはしまふのだらうが、保温の方法

第0 それだのに、何故北極の近 らといつて人間が住めないこと

れないことが非な風いだらう。

サマヲ ズツト ウシロノ イ 大チャン ノタンケン

(164)

n :

9 7

ゥ

ワカゲニ カタシ ジブンハ カリニ ミガマヘマシタ。 ラ モノスゴイ コヱガ キコ ワイブツハ ヤウニ オホキナ カラダヲ アラハシマシタ。 ヤガテ ホラアナノ ナカ カ エタト オモフト ウミソ ク ヌーット オウ、 ノソリ ノソリト 大チャンノフルハセマシタ。クワイブツハ チャンハ オモハズ カラダヲ シイ スガタダツタデセウ。大オウ、ソレハ、ナント オソロ ハウニ チカヅイテ キマス。 ノソリト 大チャンノ

童

話



ほどないものかを、私はお話しや決して涙をおとしてはいけません

粒かねばならない時があっても、

とにいたしませらねったとへ、

皆さん。これからもう泣かない

です。様は少し急いでゐましたけった時、鮮に靴のひもがとけたの

皓

昨夜の様なあたゝかさから急にこ

さる。も少し火におよりなさい

いるとさけんだのです。

しい奇麗な球を、そこにみつけた

に手をかけ様とした時、思はずっ

私は、腰をかよめて、靴のひも

ンチに腰を下して、ひもを直さられど、しかたなく、そこにあるべ

と思ふのです。

んなに烈しい北風の日に變るなん

のでありました。

それは水晶の機に美しく透きと

らうかと思ひました。

が、考へれば考へる程、それは

い珠が何の酸りに使はれたのであ

て、やつばり満洲ですね。

今朝、私はあまり寒いので、お

す。ところが、窓の外を見ますと狡猾の方は休むつもりだつたので

まと十粒ほどもあるじやありませ たった何とも言はれない光のある

秘は今朝は、少しいそいであまわからなくなるのです。

場までゆかないでも寒に乗ること にゆつくり走つて居るから、停留 いうちに、また雪がつもつてしま 一概町の雪がすつかりとけきらな も有がたくありませんからねえ。

精べつてとろんで繋のだるまさん一ることが出來ますが、このごろで とができません。うつかり乗つてめて居るので乗りたくても乗るこ が出來るのに、大連の安全電車の いぢわるさん、風をびつしやりし れが小野校の門近くになると、総 女は内輪に歩くので、男と區別す のあとが大きいのからちいさいの 雪の中をおさかなやさんとおん

巴里にある ところどころ ナポレオンの裏の下等、そこに だ事や、埃及に或こんで王標の塞り下等、そこに だ事や、埃及に或こんで王標の塞

出して、ポケットから紙包みを出るご配を喰べ纏つた時、ふと思ひ

事は忘れてをりました。丁度おひ

して見たのです。

皆さん。私は文、吃難して了ひ

秘は、お午ごろまで、その珠の

包んでポケツトに入れてお役所にしたので、そのまゝその珠を紙に

立つて「アルアスが何だ」と唱ん 立つて「アルアスが何だ」と唱ん 立つて「アルアスが何だ」と唱ん 間がの日を送つた事など幻の機に うち枯らした焱や、総海の孤島に の で、雪のモスクワを後にして尾羽 存んで來る。

でもあのときのしやしんを見る やいました。 と大れんにきたときのことを思 もう。うつ」たよしとおつし

ひ出します。 さんじゆつの 松林小事被三年 高爆新太郎

して先生の所へもつて行こうと てもわからないので、しかたなのもんだいが、いくらかんがへ 十月一日のことでありました。 せきにかへつて、よくかんがへ のもんだいが、 居たことがはじめてわかりまし て見ると、やり方がまちがつて つて居ないとおつしやつたので は、まだもんだいのわけがわか さんじゆつの時間に、僕は一つ しに先生の所へ行くと、これで

たので僕はせつかく作り上げた 早くおしまひなさいと、言はれ 「もう三時間がはじまるから、

チ作 といくつでせらね。 みんなこつづつはつきり雪にしる 生徒が八百二十名の融散小雕校でされますから、假りにその聴校の 大連中だけで小圏校の生徒が一萬 一千四百二十三名だつたら、ええ はいくつ足あとがつくでせられる

泣かない人はお離をお捌さんやの居るのは、すべつて泣いた人です 筋がついてまあるいあとがついて て遅れたものだから、瞬け足の人 は、せつかちの人か、おねぼうし 二年の人はみんなゴムのあみがは うにまつかにした人です。 つきりして居ます。すツとふとい で、それがないのは、大分はき占 居る人は、買ひたてのおはつの人 です。ゴムのあみがはつきりして したものです。だからちいさい一 足あとを見て居てもずいぶんお

船で大連に来た日 兒童の作品

くる日には肾島につきました。 十五日でした。そして、そのあ ほくが比海を出たのは、十月の 起きてゐました。 り月が美しいので、いつまでも 田てゐました。私だちは、あま そのばんはとてもきれいな月が 用日たつを

つかな朝日を見ました。その時ッキに上つて、うみから出るま た。まどを見ると朝日がたいへ そのあくる日は五時頃起きまし 「論戦をとつてあげるから、むお父さんが、」 んうつくしいので、おとうさん いあうとよ、一ばん上のデ

つたので私たちは朝日の方を見かぶを見ておいで」とおつしゃ てゐると、カチリと音がして、 お父さんは

どろに大れんにつきました。今 私たちは、その日の午前十一時

がらどうぐを 物を以てもらへず、ざんねんな しまひました。僕

寒さの 順等婦人病に罹り易く又病勢を亢進し取返し込みや、頭痛、眩暈、子宮病、血の道、月經 0 これか らは

先づ中将湯を召上つてから 動は不断に續けられます薬効は顯著で終日冷え知らず安心して主婦の活薬

士推獎



胎見に影響する

ル血を下し清き血を養って肥立が非常に良好であります。 と外に、他意を来すこをがあります、この悪阻がひどく と八ヶ月になると全身に浮腫が來て危險なことがあります。又 と八ヶ月になると全身に浮腫が來て危險なことがあります。又 をが中將湯は血液の循環を良くし此等の疾病を醸防しお を変化した子は丈夫であります。この悪阻がひどく

一大の症狀には中將湯を 一大して駄楽にお迷ひなく 一大して駄楽にお迷ひなく

主 No.

白帶下、 

効

日日

童中

(可認物理即有三朝)

安住大連法院長 華耀堂には死刑を しに求刑

告に総告を進め最後に王には火戦き更に加入院諸縣に開はれる 私だち一

本土生命現實役ほか陽係の取職べを 「大阪十九日發至急報」藤田組が で、「大阪十九日發至急報」藤田組が 中臓三氏に不正事館ありとして約 中臓三氏に不正事館ありとして約 十日前東京地方絨事局に告設あり 十日前東京地方絨事局に告設あり 土生命現實役ほか陽係の取職べを 係る武験脚

富士生命譲渡に

不正を働いたか 北條檢事關係取調べ

800

判決言渡し廿八日

小橋前文相

不起訴理由

杉村博士講演 本田陽東長官は歳末に際し親く徴 あるが、主なる趣祭師所は離場深大田陽東長官は歳末に際し親く徴 あるが、主なる趣祭師所は離場深太田陽東長官は歳末に際し親く徴 なるが、主なる趣祭師所は離場深太田陽東長官は歳末に際し親く徴 あるが、主なる趣祭師所は離場深太田陽東長官は歳末に際し親く徴 あるが、主なる趣祭師所は離場深太田陽東長官は歳末に際し親く徴 けふ正午、來連して し一首を告げて同四時十分閉延したっ は來る廿八日判決の記職しを行ふ 明年一月十五日から開始する 愈る

貧民の窮狀視察

各社會事業團を初め

デモ頭白い。富士新年號にありた倉田観覧氏の誌、類と歌れ版と た倉田観覧氏の誌、類と歌れ版と が意と見ん形が様一氏の語。ト 本當の話

始に決定し特金は三百五十五圓で十五日から水上機による恣喩も開

岸上博士遺骸 後リヴェイラに酢薬に赴く由であのフランス前首相ポアンカレー氏は本日正午迷験した。クリスマスには、カリスマス

ネギンは今夜の汽車で歸りますから御見落し 御來店下さい特價品も澤山御座います

最後の出演を致

手紙に十五圓を添へ市役所へ

あげて下さい

人の寸志

奇特な青年の行爲

さい、前面私共二 け下さい(原文の鑑) ますが之等お氣の器

毒な万にお届

相場(特産、錢砂、株式、各地中前十一時

変の雨三味線歌澤寅美代スー。年の瀬唱歌澤寅美代 下大連放送局より

九日興強さして来た を はれぬその日の糊りにも苦しむ されぬその日の糊りにも苦しむ されぬその日の糊りにも苦しむ されぬその目の糊りにも苦しむ はず

景氣に頓着な

叩利きの子供のお友達

張り人形が一番緩ちやん方に喜ば で、おまゝごと道具の大ぎには矢

歳以下は大體に於てお楽所道具をでないと辨まらぬが、女の子は十

おもちや屋の装飾窓を賑はす

師走を行く

(19)

と総打つた成もりとする。 を総打つた成もりとすると新 を終して、寄せ細類の教育何々 と総打つた成ものが迚も多く と総打つた成もりとすると新 を終して、寄せ細類の教育何々

同野してあり、市ではこの命噂なに綴つて異れと次のやうな手紙が

運動祭器に融給を委託するとて十

手紙を嗾したまゝ倉墓として逃げれた一青年あり、居合せた給仕に十八日午後三時代ごろ市役所を訪

の機に去って行ったので手紙を開

囲藝團に投 じた

少年漸~歸る

上海から奉天丸にて

として金十五圓を添へて登別者したところ、中には兄妹二人よ

度使へば

っと

師ります 御魔下さい當日は 時 別 演 午午午 正午 後後 二 一 十 時時時午時 一等を減じてほしい」と説き、更を思し「被害者の実職のために死

であるから」と情狀酔量を希望し那の女は特に男から強調されがちに骨鋼氏のために「女の中でも支

太田長官が

設備完成して

五百名の中僅 ・ 四十名音連 ・ 四十名音連 ・ 一本の女の様なに打ちのめされ、直接 ・ 一本の女の様なに打ちのめされ、直接 ・ 一本のでは、一本のでは、一本のでは、一本のでは、一本のでは、一本のでは、一本のでは、一本の中性 ・ 一本のでは、一本のでは、一本のでは、一本のでは、一本のでは、一本のでは、一本のでは、一本の中性 ・ 一本のでは、 来た。職ぐ所によると概計が 対場に悪態に行つてるた苦力 あつたが、十九日入宅の奉天 あつたが、十九日入宅の奉天

温店特製の銘仙を着し

十日午前十一時ョ

人工さんのよろさび (建築家になる鉱造) 東西各國の名産相揃へ 東京風菓子謹製 暮 酒類 最も適當の 品 食 料品

日本各地名産

イワキ町八九西通筋角 博多屋方

奏集の苦力

(七)

走の仕入には例年より却つて破勢 い他店の不景葉県に観潑せず、師 した市中玩具店では、観陶し にながらない。

正 だが、階級のかげに振純薬ゆか か仕入れない。 と ふほど出來ず、初解の空高くタコ その羽子板も、 と ふほど出來ず、初解の空高くタコ その羽子板も、 で かまびよりは自然密内遊戲がさ 値段は機論の一直

が最もよく賢れる、大阪製は聴じ で、些への贈り物とするものが多く を述べの贈り物とするものが多く で、世間ぐらゐまで、三間位のもの で、一間位のものが多く

月」で過すにふさはしいと、善良の影響節数の都の家庭は「子供正

あのが、死ぬつもりだつて……

がひに

一、後女子さんからお手紙なの

質性へ出掛けるのである。入れち無職に飛び出して行つでしまった

窓

(192)

兒

限

計 性 田 哲用 継行 賞 邑 津 秀 H で 手 8

るることで御座いませう。

知子の足元に置いて笑った。

零落へ仇の

った追って来い

彼はか」えおろして來た本を美

実知子は無の最さらに黒田の齢がらやないこと?」

常選の大へ茂

このニッケルの時間とが変、それのらいくら

※延びた二人資量で見てる

落物どぶも人目も何んのその

は、最然といれしたものとやう

美い子は暫くの

…どうしたの? 何かまた心

日に金なんか用してしまぶものだのとほり、僕は似即の連中に出館

な気がいたします

满

の致します御利用頭ひます

音野町七八

電話集四〇〇六番大切、コム市会司社文の節は必ず26吋26吋26吋26、乳は足袋交数を御通知の事名古屋市千種師節、乳は足袋交数を御通知の事名古屋市千種師節、乳は足袋交数を御通知の事名古屋市千種師節、乳は足袋交数を御通知の事名は大の節は必ず26吋26吋26両では、1回1位の10円では、10円

花環能はら屋花

がと思ふと、直また急いで転降り とかくくと二階へ昇つて行った とかくくと二階へ昇つて行った

お別れにのぞんで、たよ一つの お眺ひが御座います。それは他 でもありません。草野さんが青 でもありません。草野さんが青 でスム……で、施里つているのは なと思ふわ……」 ると思ふわ……」

郷里つているのは

呼吸器病情

僕なんか子

何属なの? 影峰の在なんですし 性! これでも少し短いのを辛樹だ! これでも少し短いのを辛樹がれなんかほんとはマントなんでおれなんがほんとはマントなんである。

端目 [落日柳

関原 斗 生 関原 斗 生 関原 本 常等は 関原 本 堂 常等は 関カ 道 してそつと入り 落ちさらに 良ふて父親汗になり できょうに 良い なり できょう かんしょう いんしょう かんしょう はんしょう はんしょく はん 一品もの

新装を凝らして お装を凝らして みな様の鳴戸は しに 大小宴會の御催しに

4







一田へくカキ、仁円歯

円。煉頭磨。に口る体温

科新製に丹。

料が飲煙を飲えれずるなに獲り発行てしいお

レツキスは



舗本酒ードブ蜂…元製盆

#天堂主風呂崎 『市美濃町二五三六六八八 『市美濃町二五三六六八八

| 国際運輸機大連支店|
| 国際運輸機大連支店

東縣 店 丸 一 商 會 監影 四二六四、五八八番 電話 四二六四、五八八番 キューナード党船會社 新客業務代理店 別海郵船株式會社大連代理店 船客業務代理店 船客業務代理店 ||阿波共同汽船

●乗船切符發費所 大連市伊勢町ジャパン、ツーリスト、ピユーロ 大山第出場所東家洋行内(電話九 沙河口出場所東家洋行内(電話九 沙河口出場所東家洋行内(電話九 沙河口出場所東家洋行内(電話九

一円金言小話

◎年少に蒔かれ成人して賞る(英誌) るまでは極めて質節で、

咽喉 等に現代の理學的療法として推賞せらる 耳 腺炎

管支炎、 、盲膓炎 、乳房炎

> る、而して看護者の手數をはぶき得られ、副緩和し熱を下降せしめ、頗る爽快の威を與へ不快と不便なく。速かに炎症を去り、疼痛を理論上、質際上に合理的にして、濕布の如き 使用法簡便、一日―二回の交換

全國知名薬店にあり

株式會社 武田長兵衛

濕布より便利安全

100 政記輪船出

右汽車汽船出帆日時は天候其他の 機保により變更すること有之候 財産所 ・キューナード汽船會社

2017ランスのロンドン合語でフランスのロンドン合語で

スは來るべきロンドン會一尚本日イタリー政府より最に佛伊根本教唆を力設した。 反響できる

露土不可侵僚約

群雄割據時代

その何れもがいを嫌べて来のやうとに歌いて天散に在る一般改善は

に では 大を は の は 要 と で と に 不 変 か で マ マ ツ 間 歌 に 部 で は 大 変 か に 出 本 変 か の 自 愛 い が で は 大 を 極力 否定 し て と 高 歌 が に 郷 本 で に で は 大 を 極力 否定 し て と 高 歌 が に の る が 王 を が こ で と 高 歌 で と こ で と い か で と い で と い で と い か で と い か で と い か で と い で と い で と い か で と い か で と い か で と い で と い で と い で と い か で と い で と い で と い か で と い で と

勞務係主任

堀氏に決定

らな形態の

0

0

、南京領事に

軍餉不足に

雞軍背叛

職氏の革命破滅

集集 職る 學、主 し歌王 107は に の 郷土とも 107は に の 瀬市とも 107は に 107の 高田 107の

一種女三氏が独立を整備した特に、 一本年の版人生活に今日ほど希望 を有たない時は無かつた」と語り

廿一日頃着哈の豫定

テュソフ職職長の都氏を同道障局

形男を開かに融るに時間は決して、 に、「は、 を対している。 には教えたが関民族の同志に に、「は、 には教えたが関民族の同志に に、「は、 には教えたが関民族の同志に に、「は、 には教えたが関民族の同志に にして戦れり では、 には教えたが関民族の同志に にして戦れり では、 にしている。 にして戦れり では、 にしている。 にして、 にして、

は全職と認め、時局和平解決の爲め蔣介石氏に對し婉曲に下野を勧告する機化ある。其内容左の如し、 は登職氏は張鄭良氏と數回復報を行るし、其内容左の如し、 は全職とは張鄭良氏と數回復報を行るし、

總噸數制限ご潜水艦制限反對

院で説明

回答が到着したが其内容は未だ破 リー政府に提出した聖書に跳する

表されない

の軍縮根本策

澁澤子を召され

親く何召し御監食傾付られ食 では十九日正午郷で御沙汰あ では十九日正午郷で御沙汰あ では十九日正午郷で御沙汰あ

るに意見の一致を見、直ちに共旨打電し館職地を開放北平

政界海化と同和會原東京十八日神電量数機同和會原東京十八日中前十一時より昭和明會に開催、緑瀛事件開發に依り

あるに意見一致し零時骸會した 機の観鬼政衆隊化の鳥の郷世をない。 とは、一低して脚印をない。 は、一低して脚印をない。 は、一低して脚印をない。

世界では、所も 見を大に関からと思ってる 見を大に関からと思ってる といふ意味の探痧をなし閉裏に入 といふ意味の探痧をなし閉裏に入 を記さて誘熱は歐点がです。 を記さて誘動は、 の探痧をなし閉裏に入 を記さて、 の探痧をなし閉裏に入 を記さて、 のながした。 のながしたが同大・ のながした。 を記さて、 のながした。 のながし 

き機井扇長は左の如く破

「東京十九日發電」東京帝國大學 神村清二博士、慶勝部の町田吹吉 中村清二博士、慶勝部の町田吹吉 中村清二博士、慶勝部の町田吹吉 五博士停年で引退

体暇附與黃八萬二

安る事となったが皆実的恋を憎ん原土、同右田中四郎博士の五数接 和五年度二十四萬間、六条設備費二十ヶ年議鐘時台建設及び電話改良費 間前に伴ふ瓦斯計 等科設減費(定

昨夜高級社員招待會における

仙石満鐵總裁の挨拶

採用實行する

た意見ならば

島観書一人であららを

既中十九日太徳ばいかる丸で 静島由极氏(補鑑騰託帰護士)上

▲鈴木イテョ氏(奉天特務織闕長 夫人)同上 夫人)同上

大觀小觀

変勢に出で、解撃を脱回しほたの 整、機乗の危急を働くまで軽極好 の力ばり据さ、河南、騰 がでうしてゐると逮捕でもされさ 例の灰色電の裏切り減るからな は、何と云つてもえらい。

ん」と他石級数は流石に大きい。 「路傍の一車夫の善官をも贈か 天氣豫報



## 十五萬圓承認

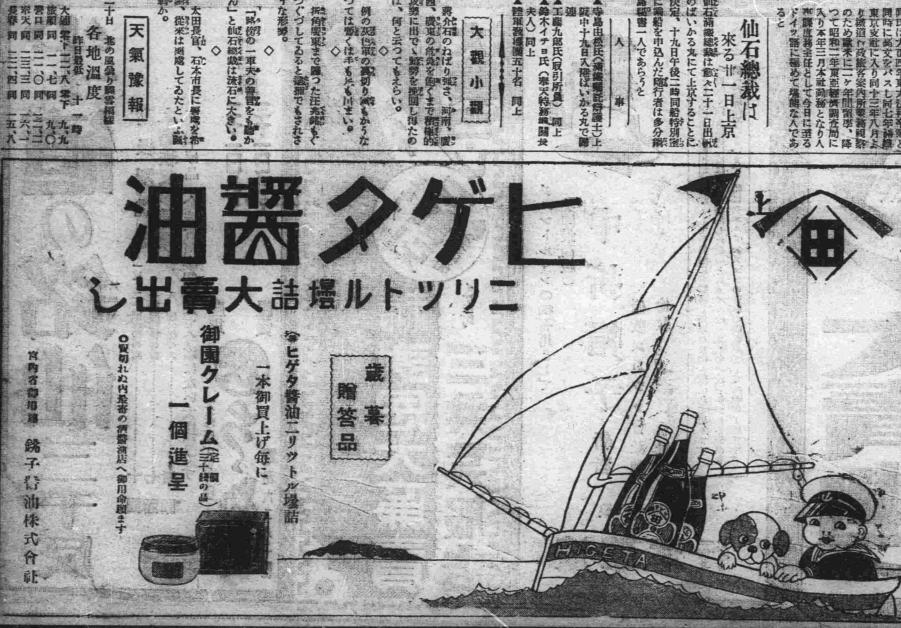
休養増加と中幹部の養成

河州 株式會社

十十一四九

9 11

太田長官、陳情聽取後 を希望



羅沙端切大見切品其他多數優良羊毛本布 一枚 監員上の七回流 滿毛製品大量廉膏 七月 滿蒙毛織 一一日(土曜) (自午前九時) 仕品が、毛糸

までなつたから城(映画館のために) までなつたから城(映画館のために) は成立しいではく談がし近く楽帽を波れる 東条 棚の旅船 と

一時機能された後時間一切排除するやり戦闘に職合して来た、とかため城段を試命は十七日全體合業

健康勝れず

台喚延期を請ふ

て先づ散構で帰る安達内相野子夫人が「女手で出來る聡平で

のから盛立てくるる夫人の耳にも強い響きを興へいから盛立てくるる夫人の耳にも強い響きを興へ

咽喉を害し鎌倉の別莊に

府養中の山梨大將

断一説に関して民政黨では左の如く稱

に陥る

黨の宣傳

電話線は不通こなり

海上連絡も杜絕勝ち

帝兄隣条総倉庫中の武器十場祝い 汽船引返す 武器積取の

河以西に海むを海ず、一ヶ月に直 無理解なる阻止で威際列車は党渡 人約四百名の安否調査は胡草長の 人約四百名の安否調査は胡草長の を選挙を表現の各圏



モスリン着尺全部特價提供

(三月五十銭まり

(大中天北鉄り)

モスリン友仙大特價提供

ナフトル友仙全部大破格

色モスリン・二百種の色ぞろひ

(大中)尺光八

大中一尺八錢的二

0 加に比較すれは八百三個の増加での多数に上り之を前年度同期の増 電話の増設數 年度電話境設然況は十二月感慨信局の調査による同局管

で明二十日午ッ で明二十日午ッ

モスリン風呂敷特價五十五銭

•一四 。 就一四九

二十五銭

三十五以

初モ入實用ふろしき

八の自机

順は積雪で作業難 十四日であるのに今間何等の消息

央航空司令

墜落慘死

の値下問題も態々無事解決を遂げ 老虎灘も

料理店

値下げ

批論に聞いたイギリス航空司令官が方面に向け約六千里無廣陸飛行の数し、南アフリカのケーブタウン

元天のため

師走の街頭に

同情のお餅

年末御手當の御下賜金で

四大臣夫人の美譽

能三號室で厳密なる取職 へ再び出願した、石郷間 の大石郷間

同時に總長室で密議

居るもので場合によつては織事局がと見らる。一方無長望には小山

順)は去月十二日旅順へ向 かぬ富士丸

たが、近日中に其體策を作製提出大連署に出頭保安係の意同を何つ

國際列車

を

の好い歴生であるたいと申し出た、近頃にない気持

市当乃木町七ノー報・ ・ 本孝明君は南三日前 ・ 大子に対けば、南三日前 ・ 大子に対する。 ・ 大子に対してが、 ・ 大子に対しが、 ・ 大子に対しが、 ・ 大子に対しが、 ・ 大きに対しが、 ・ 大きに対しが、 ・ 大きに対しが、 ・ 大きに対しが、 ・ 大きに対 献金の話

商品券

公判延期播磨町事件の 判官の發熱で

ため延期となった大国 をいったため延期となった大国 をいったが、原理が大人院に於て開始 であったため延期となった大国 をいったため延期となった大国

狂言强盗の訴

率天の領事團より 悪學良氏に

在哈領事の

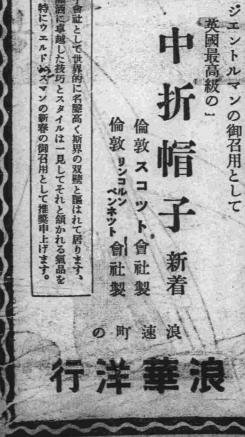
緊急會議

形男に関し熊綱綱哲を聴き其線駅に配重交渉方依賴を決議打 十八日午後五典ごろ市内派安衛三十八日午後五典ごろ市内派安衛三十四方坂に薨しかゝつた際突然上外野であり、一名の支渉人が坦礼部を観したまと所持せる小洋三十間を強奪したまとが、一名のを決める。

したが満鎌畑江氏が十九日一行を代表し屬哈するので前方の

後の回答を得るため率天御事際に張母見氏に監修の回答を得るため率天御事際に張母見氏に誤る

備へた逸品でございます、特にウエルドやスマンの新春の御召用として推奬申上げます。その飽く迄も高雅に政は瀟洒に卓越した技巧とスタイルは一見してそれと頷かれる氣品をともに英國帝軍の御用帽子會社として世界的に名贈高く斯界の双壁と謳はれて居ります。



時期の願きが交襲つたものと見られてゐる

日に千五十車以上を輸送 称送計畫

党相は十九日午後一時不起訴と、日發至急報』司法首腦部會議の

小橋氏を

組合で協議中 

十二月三十二日まで

ニナーロるリ

二割引の

聯合皇京品

切符代賣

大値下げ品。金波古濱裏絹類凡で今迄にない大投賣です本は移夕仔夢略、八 画網後の處………四 産地 大連市イワキ四

お買物には共通商品券の御利用を願います

豆粕はや、減少す

本年度の回顧

日 大に立曾日数二百八十一日にして 高频百九十軍、豆粕七萬四千枚、 高频百九十軍、豆粕七萬四千枚、 1年 1日 大に立曾日数二百八十一日にして 1日 大に立曾日数二百八十一日にして

内内幸町東級ビル棚内商事の事務 引受けて異れと云ふ話は以前か ちあつたが蔣州の事情もよく判 ちぬので

方面の賃債も聞いたし熱心な悪

A·E·Gの外資輸入に

商敵シーメンスが攻撃

自信ある同業者が迷惑すると

「東京特電+九ロマ」五品の後任 理事長に内定した概内院原氏は來 る二十五日神戸出帆の香港九で赴 連の豫定であるが氏は東京市丸の 連の豫定であるが氏は東京市丸の 所になる。

ることだから急にその機會が熟するかどうかは判らないがとんな問題は満洲財界の前途を考へお互に自我を捨て、職がしあったら必ずしも不可能のものではあるまい、十三日株主に通知し二十八日機會で重役更迭の決定を見る筈である、其上就任を承を見る筈である。其上就任を承を見る筈である。其上就任を承を見る筈である。其上就任を承を見る筈である。其上就任を承

ものをつくり他配尻下りなったも減らず叙上の如くしたるは一は常榮者が手の及所思惑を撃るが手が、東地に所謂威辱者が手が、東地に所謂威辱者が手が、東地に所謂威辱者が手が、東京のをつくり他配尻下り

のである のである のである のである のである

俄に活況

の如くである。

生能力の

紹介所 大連に新設

のハルビン及東支治線の油房製造校の融少である、十二月一日現在

况

四年續きの不振 東部線の開通

華商が共同仕入

満洲には珍らしい 

公式以一市場。夏上高い上十一月中の公設五市場の夏上高い上十一月中の公設五市場の夏上高い地し七千六百十周の減である、世地し七千六百十周の減である、世地の東上高を記せば左の通り(四)

信息 小崗子市場 二九二、二四二 小崗子市場 二四、五四四 沙河口市場 二四、五四四 山縣通市場 六三、一九五 山縣通市場 六三、一九五

升來出に軽手が一レカスイラの上最

與地市况(計場) 與 置故 (電影型) 與 置故 (電影型)

大安高 四三六八兩三七兩八

は二厘方の纜落をみたり際氣剛はは二厘方の纜落をみたり際氣剛はは三三十銭上厘四月三十銭三厘四月三十銭上厘二三月三十銭三厘四月三十銭見當銘的 約定期 値 段 牧敷級筋 延二月末 三〇二 二〇出來高 二萬枚 化多布(保合) 米棉二三十銭高 にあるるも銀票安に気

鑑大連商業銀行

安高引寄同(短期)東東銘東京株子 11500 東東新 東京株子 11500 東東新 11500 東東 11000 東東 11000 東東 11000 東東 11000 東東 11000 東新 11000 東 110000 東 110

熊岳城温泉へ 野温泉間乘合自動車の便あり 九人以上團體半額

國の爲に

ケナー月末に報る呼ばの出来高は タナー月末に報る呼ばの出来高は 大連商品市場に於ける本年一月よ

市場振興の根本策は

矢張り三社合同だ

自我を捨てたら不能であるまい

五品理事長に内定せる

櫻内氏語る

で、 即ち前月賢上に比し信機叫市場は 二千二百二十八圓と何れも減少し 通市場二千二百七十八圓と何れも減少し 町市場三千二百七十八圓、十代田 である 東支の大洋建

大地を占むるものなるが大地を占むるものなるが

毛皮 ハルビンより 毛皮多數持参しました

期日十一七日より前入時まり

監部通いろは電話士七九六番へ

文に應じます

御重詰 0 御用命以











国五三 四〇三 八〇四 三

緊縮でお図が富み。

之助つて男も、なかく

類を變へて。職人らし

似てあるやうだな、どうだ職人、「さうだな、さらいはれてはると

日本のは、 
日本のなが、 
日本のなが、

まるきり兄弟のやうだ」

「似てゐるもゐないも、これぢやいふのか」

本なと覧っては?」

T間に極がれりや、水平といふも ではなざさうだ。姿域もこれだけ

||首の||室の||美の作兵衛、長前のお六||で、今時十郎、河津清三郎、郷木様子、四、劉徳川満、上山物語で、今時十郎、河津清三郎、郷木様子、四、劉徳川満、上山物語で、今時十郎、河津清三郎、郷木様子、四、劉徳川満、上山の豊田、の東を城き出したの。

と明主はあくまでも無難いっして人民の力を借りよりといふれて、人間の気を利れなる殺人が影切が、何れにしても高別は形成だが、何れにしても高別は形成だが、何れにしても高別は形成がありまりといふ

腰をかがめて、慢頭笠を下からなし

はなるが、あなた機もきれいなお坊 4 でこれは不川野だってつきり瓜二 にりに目 一ではないで、一般に鎮層師は他のりに目 一般でがぬめた。 してれば不川野だってつきり瓜二 に

ふのだった。

とんだことでございま

とんでもないことだな

、何故か鏡簪師はごくりと脳 のくつきりと出い、潜んだ眼 のくつきりと出い、潜んだ眼

「わしの鍵が夢之動に似てるると

ある。

方から続い會勝を送った。そして、少時、相慶らずの日を立い、心底には南がなかつたのか、が、心底には南がなかつたのか。が、心底には南がなかつたのか。が、心底には南がなかつたのか。が、心底には南がなかった。

安

(204)



平

何度は内臓でもとの立札にあんぐ 素を践けて行くと、それを、飼物 素を践けて行くと、それを、飼物

能は大きな、からと見返した。 ちらと見返した。 いた、すぐ口境に微笑が楽た。 を関いた、すぐ口境に微笑が楽た。 では何かの手ぢゃないでせらか。 これには何かの手ぢゃないでせらから、 さたいでせらから、 遊を襲へてと きたいでせらから、 遊を襲へてと でいっそれを捕捉の方がちつと見 のない。それを捕捉の方がちつと見

口を開けてゐる。

「臓はいだららの 捕更の方でも、 ととうでせる」 その位のことは響へるだらうが鬱 とうちょうがいき、その位のことが分 の表って気で――ところで、あな「さらでせらかわ、なるほど、裏 

「それぢやつまり、捕更の中に夢かな、何時の世でも、捕更よりは俺ないといない。 イン・ はないといる ことになる。それはさうだらうな、何時の世でも、捕更よりは俺なければ影響にはなれないのだ

映畵を開

歌的映画との視機なる

十六日よう場で順 原作・前色・監督…友族用三 同

然が 衰弱すればしいくら 旺盛なれば 金は……

正太

性懲が旺んなれば、勇氣活力を生 人一倍に成功するは理の當然、論 より證據世の凡ゆる成功者を見ら じ、勇氣活力あれば事業學問にも

人として夢志弱行にして性欲衰退の

甲斐の黒駒の勝蔵

何事も悲觀退要 の人を見よ! グズーしてゐる 飜つて性然早老 士ありや!

朝の

0

響に、世間の人に甘い 事と離成功しない。 んとせばまづ馬を射よ金を儲けんごせばまづ性数を充実すべき生産機能ご算量は完全に一致する、世の凡ての悪女よ!将を射 汁はみんな吸はれて何

年末決算表を見て苦笑する前に一瓶のトツカ ピンを備えて次の商戦の覇者となれ

左記症狀の人に推奨す △東温で不能果和老の個みを嫌ゆる人 △成装で不能狀態亦は無額製設の人

理会に一門一環 東京市鎮座新看町東京市鎮座新看町 OI: 〇五二架 二七六五者 六七三房 — 28—町 番 第二房 番 888八

まの

品切の節は―

◎全國到る處の藥店にあり

枯蕊 か

吹きす 美しいお肌を荒さ さな重 うら

これがあるから御安心し

あなたの味方へチマコロンリ

水、お路筋のあとによい細かに節をよくし自然のとき い寒 つも美しく保ちキメを 風に売 れるお肌

水 力。 6 際し た 化粧水

伊奈树一

お物談。ビーブダニエルス観主演をリチャード・アーレン氏 実優・リチャード・アーレン氏 **泤**尿 性病物給水 王殖器障 22

チョコレ

ト・タ

1

ル

受起五二六00

▲無奈陀ニールソン會社製

特約販賣店名

チョコレート取合はせ化粧箱入各種

ニールソン・板チョコレート二打入各種

案 内

ť

クリスマスのプレセント 年末年始の御贈答品

○数します、御安心の世来る品を御求め下さい!市味受質の場合等がありましたら何時にでも御戒管中味受質の場合等がありましたら何時にでも御戒管中味受質の場合等がありましたら何時にでも御戒管・ 1 F

乾 葡

化粧箱入 赤 葡

Ł

版板板短 十十十 五十十 級数数

TOWELGOUKEO COLOGIA EAD: DE TOILETTE

GAMANOS CO

國際列車 

陽間

唐范兩軍は

信陽へ進撃

解

け

た空氣の裡

•

意見の接近を見る

進行交涉

鐵道計畫

新し十八日第二大の反對通電を設 交機會にては小職公便の整性に反 変態のにては小職公便の整性に反

産業指導機關 場

百餘萬圓

は百四十五萬圓

十八日夜招待の大田では

大連

「中日午後三時代より大連階院に
二十日午後三時代より大連階院に
て例會を開催左の講演ある由

定期後場《單位錢》 用水高 潮近 百七十一萬圓 用水高 潮近 百七十一萬圓 用水高 潮近 百七十一萬圓 用物後場《單位錢》 與對金 銀對洋 金對洋 一時半 光型 1111至 12111至 1211至 121至 1

使な市営局

一月限 11150 1

電話七九八

八八八場 八五〇

九〇〇〇 〇四四三新 〇〇〇〇 申申

本紙を見て見本請求の方に限選者の場合・有効を表での書店に不便の方は「へがき」で御申込をなる。
東金便で會費取立後送本す。
東金便で自動を表する。
東金便を表する。
東金便で自動を表する。
東金便で自動を表する。
東金便で自動を表する。
東金便で自動を表する。
東金便で自動を表する。
東金便で自動を表する。

不不不一不一二後 〇 七五九引 申申申○申○○○

始開本配回一第 進見會 切品忽到殺込申 定 見 基本日 全本集 著 藍 高 山 岡

九九九九九八八後四四三一〇九八城 九一七九六九六引 〇〇〇〇〇〇〇

〇不不九三五七 九 九四八〇後 株四四三一〇九八級 綿 七 七三二九陽 大八一一七九九八帝 〇申申〇〇〇〇寄 式 〇〇〇〇〇〇〇

一五五九三五七 〇七八九三八〇後 一七一七九四九場 〇〇〇〇〇〇〇月

支那動亂

の中心

P 【東京十八日發車】 山崎 正恆

津浦線方面に移る

編輯顧問 文學博士

一、原発性肺臓癌の一例 一、異状の經過をとれる二三の猩 を本本森夫 一、異状の經過をとれる二三の猩

が鮮岸の崩落地を利用して

四回を中心とする治量の勝窓地震に安東愛」鴨絲江下海嶼既岸の楊

拓が力瘤を入れる

年々擴大しつい 統江水流の爲め押し流さ

警官が

英文 及邦文タイピスト生短期 英文 及邦文タイピスト生短期 京等前九八北側裏 英學會 京等前九八北側裏 英學會 京等前九八北側裏 英學會 京等前九八北側裏 英學會 大連市大山山 小林又七支店

る旨復命したと

匪賊と

処長から嚴罰密令 探奪行爲

中乳 なら大正牧場 - 一十乳 なら大正牧場 - 一十乳 なら大正牧場 - 日富洋介

牛乳パタークリー

Εp

and year

牛の大連牛鬼株式会社 電話四五三七番

なであり、一般であり、一般であり、一般であり、一般であり、一般であり、一般であり、一般であり、一般である。今春間後、其心以外の意思を定してなると活をせしめんがために武力に無くたまでよると、を表現と、第三階級民に跳する保護のの安定を製して十二分の食料と生活をせしめんが、第三階級民に跳する保護のの安定を製して十二分の食料と生活を対しても、第二階級民に跳する保護のの安定を製して十二分の食料と生活を対しても、第二階級民に跳する保護の安定を製して十二分の食料と生活を製め、サードの食料を生活を表現して、ソウェートの食料と生活を表現である。

撫順製油の副産物

の拾る物

北満に嚴寒

生 送五千順の服産物を設する事は転かれてのである。限に右八千順の服産物を受見するに至り か に明瞭であったが、前記主座物及 た、服産物をして前記の如く脚登 和全なる服産物を受見するに至っ たのである。限に右八千順は最低 であったが、前記主座物及 でのである。限に右八千順は最低 である。限に右八千順は最低

大山道 中海艦県電話六一六一

注服頻**達**對在

物タクシー 〇呼電八九〇世

しか無い範の個と龜の1字管特許龜の子東子は 龜の商標の

· 新疆院 皮 情 淡原生殖學病

門札の瀬戸彫り、野田 宣言の大連監督語三五八四番 東五四三九 門水洋厅 ・画公園町港後町大口・ 電話 二十〇四 皮 鷹 病 響 議 素 大連市吉野町ニ五 電話 質 野中醫院 低利金融

御親閔記念の行

東部蘇聯は多場な特別を再して出 東部蘇聯は多場な特別を通見するに於て は、道を求めて再場に新天地を建 は、道を求めて再場に新天地を建 は、道を求めて再場に新天地を建 は、道を求めて再場に新天地を建 は、道を求めて再場に新天地を建

征雜錄。

一人を、十月五十二巨石七十五人を 一般に一大きな 一般に一大力を 一般である。それが昭和三年度に たのである。それが昭和三年度に たのである。それが昭和三年度に たのである。それが昭和三年度に たのである。それが昭和三年度に たのである。それが昭和三年度に たのである。それが昭和三年度に

は石、共紀は斤にて算定) 建設地を選定

ないから ないがら 

、二等一千七百圓、三等一千四 坂と建設 カハ十萬側を加り、1単歩常り千八百餘圓を支出する脚である、第二の壁田村は吉する脚である、第二の壁田村は吉市の地路に位し

新東新藤台町に関めされ、翌四十 三四年版本、宮城二縣より移民を招 であったが、明治四十三年 であったが、明治四十三年 であったが、明治四十三年 であったが、明治四十三年

貸衣 Same

情变叉型茶灰町入口 題五段 **前田久**郎 語教授(新入門顧意)

標面幾登

葉は ヒシカワ 楽同 文鈴木太郎 電話四六九二番

お灸、病 原連町五丁日二百一番 原連町五丁日二百一番 原連町五丁日二百一番 原連町五丁日二百一番

あま酒 一升三十五銭 迅速に配達致します 大連市二等町一〇四 片 間 花 店

東京西尾商店

は實際御使ひになればよく御 性以上は永保ち致しまずこれ 情以上は永保ち致しまずこれ

と関力があるか思うかは疑問だが 努力しては如何だもそれ程の信用 努力しては如何だもそれ程の信用

付するか又は屋内に繋ぎ置くべし となりたるを以て繋犬解除を写施するが なったるを以て繋犬家は犬札をとなりたるを以て繋犬家は犬札を

の新らしい陳列帯は既に同館に多 気を呼んである。協内明方面から

乘合馬車賃銀

制定實施さる

好評を博し買占めをするものもあ行ぶ四列四職さらへは需支人間に製到離してゐるが毎年間例により

埠頭區の火事

警官の轉任さ

を記の點はより國假職業養金とし 製にては之を取次ぐ事となった 金百間普關店へ專堂高 H 九郎、 金五十圓同前村岩助、金十圓民 政安署 奥田十太郎

國債償還献金

四年度における

現金即賣デ

編井鴻羅参楽は來る二十二月展 墓のため約二週間の豫定で郷里兵

戀に狂って

身を誤った青年

罪な夫持の看護

管理協会に於ても同様役員會を

市内を国際し邦人の経濟狀態を顕市内を国際し邦人の経濟状態を顕

商品陳列館の

縣內水稻收穫高

四萬三千八百五十石

昨年に比し二割減收

職職 での新春に全部現在地列せる出品 市のの新春に全部現在地列せる出品 市場での三日間毎日午前十時 から午後五いまで在庫品の現金即 が、市内の網頭中石というでは出品を希望すると、日下商店艦方 では、1000円 は 1000円 は 1

普蘭店

北上通行網鑑安全になったので、 七日夜楽の階級のおかげで薫河の 京水三尺飛音四尺にかび荷馬車の 京水三尺飛音四尺にかび荷馬車の で、

電話の相場暴落 

して田城、原、鈴木の三巡査着は に長谷部巡査は旅順に原口巡査は 長春に襲撃を命ぜられ更に新低と 関い、鈴木の三巡査は

來年度の

公費豫算を可決

聯合會への議案を協議す

十七日の地が秀員會

大部物僧低※と共に通信機闘たる 保製部高島京子、防井玲子、青山 を要病せず誤慰を掛けてあるが一 大連の歌弾行で人気を弾した東京 概念 大連の歌弾行で人気を弾した東京 概念 一大連の歌弾行で人気を弾した東京 概念 一大連の歌弾行で人気を弾した東京 概念 一大連の歌弾行で人気を弾した東京 概念 一大連の歌弾行で人気を弾した東京 概念 一大連の歌呼行で人気を弾した東京 概念 一大地の歌呼行で人気を弾した東京 概念 一大地の歌呼行にも乗り来る の 

大大工学院の地方委員會はか七日午 | 人名 本年最終の地方委員會はか七日午 | 人名 本年最終の地方委員會はか七日午 | 人名 大工学院 | 大工学院 |

葬儀を簡単に

東

經費時間の節約を目標

新葬儀社設立計畫

最近は二百五十圓位

徽毒菌保有者

田は四十萬六千二百三十四間に

家賃引下

通の申用がある状態で寄附電話機 でなすもの多く最近では日に二三

九割も居る 血液檢査の結果判明

撫順の日鮮藝酌婦 提出議案は

五 金受揣事物を収扱ふと ・ 金受揣事物を収扱ふと ・ 金受揣事物を収扱ふと

世家人 (特別 本語は之が改す) 付けた結果な要求が、 (本語 大) では、 (本語

明 其の学家で済ます事が出来ると 因に現在の都優特は最低三十間と

二十九日自午前九時至午二十九日自午前九時至午

現大洋は人十元内外を示し依然更 現大洋は人十元内外を示し依然更 現大洋は人十元内がを示し依然更 を示してゐたが十八日は七千六百 を示してゐたが十八日は七千六百 を示してゐたが十八日は七千六百

は なが常日は稽古納めが終つて同供 楽部で十川氏の送別を兼ね納倉宴 楽部で十川氏の送別を兼ね納倉宴

在案新聞願係者を招待し褒宴した日午後六時より浪速通交通飯店に石近朝婦銀行率天支店長は十八

七千六百元に

福引券引替

十八日午前七時長春居住楊福縣 一九 は齋寒後洋車で梟姑車に向 た際洋車夫は一圓五十銭を要求す るので帰端不良洋車夫と思び下車 もので帰ば不良洋車夫と思び下車 せんとした處今度は一圓五十銭を要求す るので帰ば不良洋車夫と思び下車

標準規格委員會

の準備委員會を開催

年越には困らぬ 哈爾賓の日本商人

事務所でも考究中

町名の改稱問題 急速に具體化か 

順問委員決定す―

年賀米は連名の年間がを出すことに通名の年間がを出すことには通名の年間がを出すことには通名の年間がを出すことには通名の年間があって国 市場合具性総合管理を原教通り機能では野難の知く中七日を経験を原教通り機能可及し、監査の報告の報告の報告を記述した、監査は前期可以し、監査の報告の報告の報告を記述した、監査は前期可以した、監査は前期可以とした、監査は前期可以を見る。

盛大な落成式

十八日開原驛で擧行

(傾)に依る新半互體會は左の通り はると答である 一、場所・小學校講堂 一、場所・小學校講堂

の如し 開原郵便局の十一月中

が の事とで能ふ残り快く一般の破壊な がて開催されるが抗角の此野喫毒 がに関いる。 をで開催されるが抗角の此野喫毒

12 日報も大きい、 協綱組にては今回試み のは讃支人方成への厳愛 つは讃支人方成への厳愛 たが一時は大極順であったが たが一時は大極順であった ら

松四千體原因は凝突の心気全からなく。四十年間で縦火した難壊は





、宮内省御用遺 味の素本舗

いの思かつたでせられ、今日は楽

らないが、バード中佐薬が機酸

が覚えがなくなりましたよっ

の歴氏の響下十度位にはなって

で、一年中では一番吸かい時だっ 一年中では一番吸かい時だっ うして更なのですか。 うして更なのですか。

一般の吹雪などの時は盛分数いで

作っそんなに低い温度のところ

つたりするから中々油圏が出來

郎のお父さん。今日外の温度は

所の水道が二度も止りま

一郎。今朝學校に行くとき足の指

父の極地の冬の寒さはとでもこっ

北極や南極は

どの位寒いか

吹雪が來ると暖くなる

不思議な極地の氣候

冬

0

理

科

と思ふのです。

話

な みだ山

ほど難いものかを、私はお話しやよ。あなた方がとぼす涙が、どれ して涙をおとしてはいけません 皆さん。これからもう泣かない さあ、も少し火におよりなさい 私は、腰をかいめて、靴のひもとしたのです。 ンテに腰を下して、ひもを直さら しい奇麗な球を、そこにみつけた 皆さん。私はその時、世にも美 れど、しかたなく、そこにあるべ つた時、無に靴のひもがとけたの に手をかけ様とした時、思はず「

ほつた何とも言はれない光のある すと十粒ほどもあるじやありませ 珠なのです。それが、敷えて見ま のでありま それは水晶の様に美しく透きと

日

今朝、私はあまり寒いので、お

やつばり満洲ですね。

ところが、窓の外を見ますと

らうかと思ひました。 が、考へれば考へる程、それは おからなくなるのです。 私は今朝は、少しいぞいであま い珠が何の飾りに便はれたのであ

程は、お午どろまで、その珠の行つたのです。 出して、ポケットから紙包みを出 事は忘れてをりました。丁度おひ るご飯を喰べ終つた時、ふと思ひ 滑べつてころんで雪のだるまさん

ところどころ

(Ju)

皆さん。私は又、吃難して了ひ

歐米

溝 (-) 

ところで、今年はよく雪が降りま すね、だけど、跳なんかどうでも上り目下り日なんて、髪な跳で



した。そこで、私も元氣がつけら 上にのせまじた。あゝ、その端たさう智ふわけには行かなくなりま て、その美しい珠をつまんで掌の雲にころびながら元氣よく慰校に んかっ けて見ればみるほど、何と言ふ実

- て行ったのであらうかと風かまし 一體神がこんなに美しい珠を落し い珠を落し てゐますが、これほど輝かしい上 私は今まで、いろく地上にあ

代りに、遊歩場のつもりですか、なのです。だから、そこは別に道

り、そこを通るのが一番の近みち

ちを通らればなりません。つま

しさでせる。

お役所までに、私は大きな池の

いくつもベンチが置かれてゐます

(占曜金)

わけなんです。

れて、おもてに飛び出したと言ふ

分は、どこでも覧だっ うしてですか。 うしてですか。 うしてですか。 ないが、地臓が少しばかり聞い くはないでせられっ 一郎。では南極も今はそんなに撃 今南の方を大陽の方に向けてゐ 変、それが、不思考なことには吹 な大・度にも下つてゐたのが護 に温度が上つて來るさらだ。あ る標地接触家の話によると、そ る標地接触家の話によると、そ るのだといふことだが、或はさ やうな服装だったら忽ち死んで

のことで、先づ之が人間の網繳 だが、それは今から十八年程前 ないさうだ。ところで、ある人が地球の上の一番泉さのひどいところと一番泉さのひどいところととちらが味噌にこたへるかを研究したが、それによると寒には人々の棚價するほど身性に はないやうだっ でゐるところを見ると、寒いか家を造つてその中に平氣ではん の附近にはエスキモー人が識の はこたえないさうだ。現に北極 さへよければ死ぬやうなことは らといつて人間が住めないこと

ないことが はな原母だらう。 くに人が澤山住んでゐないので

二 ド 大チャン ノタンケン

(164

14

3

チ

9

9

ゥ

バカリニ ミガマヘマシタ。 ワカゲニ カタシ ジブンハ サマラ スツト ウシロノ イ大チャンハ ダラスヤ オヒメ エタト オモフト ウミノ ク ワイブツハ ヌーツト ヤマノ ヤウニ オホキナ カラダヲ アラハシマシタ。」 ラ モノスゴイ ホラアナノ コヱガ キコ ナカ フルハセマシタ。クワイブツハ チャンハ オモハズ カラダヲ シイスガタダツタデセウ。大オウ、ソレハ、ナントオソロ ハウニ チカヅイテ キマス。 ソレハ、ナント

時の言がすつかりとけきらないうちに、また言がつもつてしま も有がたくありませんからねえ。

にゆつくり走つて居るから、常智 が出來るのに、大連の安全電車の いおわるさん。扇をぴつしやりし 女は内輪に歩くので、男と區別す ずいぶん気持がよいものです。そ なじの長靴でさく ることが出來ますが、このごろで のあとが大きいのからちいさいの れが小學校の門近くになると、靴 この長階でさくくからのは、

巴里にある ナポレオンの墓 に だ事や、埃及に或こんで玉裸の墓。 や、雲のモスクワを後にして尾羽 うち枯らした楽や、郷海の孤島に 別々の日を送つた事など幻の機に 浮んで来る。 阿左見 福

なたちは、その日の午前十一時 なたちは、その日の午前十一時 でもあのときのしやしんを見る お父さんは もう。うついたよしとおつし

ひ出します。 さんじゆつの できなかった日格林小事校三年

十月一日のことでありま

た。それで、もう一度やり 居たことがはじめてわかり て見ると、やり方がまちが しに先生の所へ行くと、これで して先生の所へもつて行き ると

8 作 はいくつ足あとがつくでせられ、生徒が八百二十名の壁線小腰校で生徒が八百二十名の壁線小腰校で みんなこつづつはつきり歌 一千四百二十三名だつたら、 大連中だけで小學校の生徒が

居るのは、すべつて泣いた人 泣かない人はお難をお落さん

船で大連に來た日金州小學校二年 兒童の作品

産

科諸博

出てゐました。私だちは、 **十五日でした。そして、そのあ** ぼくが上海を出たのは、十月の 起きてゐました。 そのばんはとて り月が美しいので、いつま

そのあくる日は五時戦起きました。まどを具ると順日がたいへんらつくしいので、おとうさんと、いもうと、い一ばん上のデッキに上つて、うみから出るまつかな順目を見ました。その時 た。まどを見ると朝日がたい

「寫眞をとつてあげるから、むったので私たちは明日の方を見ったので私たちは明日の方を見ったので私たちは明日の方を見ったので私たちは明日の方を見ったのでもなってあると、カチリと音がして、 お父さんが、

しまふのだらうが、保温の方法 て見ると、やり方がまちがつて
で見ると、やり方がまちがつて のもんだいが、いくらか さんじゆつの時間に、僕は一つ

がらどうぐを 物を見てもらへず、ざんね たので僕はせつかく作り上 早くおしまひなさいと、言 もう三時間がはじまるか といくつでせらね。

寒さの

5

事の多

居る人は、質ひたてのおはつの人で、それがないのは、大分はき占したものです。だからちいさいー二年の人はみんなゴムのあみがはつきりして居ます。ナツとふといいが。 足あとを見て居てもずいぶんおもしろいですよ、つまさきだけのは、せつかちの人か、おねぼうして離れたものだから、瞬け足の人 にまつかにした人です。



産前産後

胎児に影響する ル血を下し清き血を養って肥立が非常に良好であります。 を変なと身體が非常に衰弱して體が保てなくなります。 を変なとなったが、では、なると身體が非常に衰弱して體が保てなくなります。又 をが、中期湯は血液の循環を良くし此等の疾病を酸防しお すが中期湯は血液の循環を良くし此等の疾病を酸防しお すが、中間になると全身に浮腫が來て危險なことがあります。又 を変で生れた子は丈夫であります。この惡聞がひどく

のかめ不幸を招き易ければ 順等婦人病に罹り易く又病勢を亢進し取返し 順等婦人病に罹り易く又病勢を亢進し取返し の活 左の症状には中將湯を近水粗悪品が多ければ近水粗悪品が多ければ

六日日分分十二日分分分

支店

19647

報

類を揃いるか或は課長の

へるために現在田

召喚の小橋前文相

、東京十八日愛電』本日午前中三時間に重り小艦前文相を取り調整車正及び松坂大艦艇事に右取調べの内容を報告した。一方<br/>
でた不態階機事は、正午一氏取調べを打ち切り本順に変を現はしてたれば、正午一氏取調べを打ち切り本順に変を現はしている。<br/>
である。<br/>
である。<br/

日

時五十分歸宅を許された

小橋文相は午後四

太氏は前後七時間に取って心鬱騰東京十八日韓電』十八日早朝東

美

八賣子を店頭に

防寒用毛皮賣りに必死

るよく質れるそうだ。

七、八鵬といふところだがアス外套襟はアストラカン四鵬以上

大連に目覺しい露商の進出

師走を行く回

多期中費つてゐない店は

て園で、些か疲勢の政権で大の如 ・ 大林の書、佐藤運転手に迎へられ ・ 大林の書、佐藤運転手に迎へられ ・ 大林の書、佐藤運転手に迎へられ ・ 大林の書、佐藤運転手に迎へられ ・ 大林の書、佐藤運転手に迎へられ

申上げられない 歸宅した小橋一太氏 の内容は

大学と料質して取調べは受けなかった、非常に長々調べは受けなかった。非常に長々調べられたやうに思はれてゐるが精々に時間位のものであつたらう、また間位のものであったらう、また間位のものであったらう、またけないつた、現に角今日はサッもなかつた、現に角今日はサッとなかった。現に角今日はサッとなかった。現に角今日はサッとなかった。現に角今日はサッとない。

些か疲勞の面持ちで語る

はれてゐたところ同人は際神に些に際して率公袋を忘れた」と叫び を来め乗船させとところ、魔場の香 に際して率公袋を忘れた」と叫び に際して率公袋を忘れた」と叫び 東京郷町區生れ山本繁治へましばさ東京郷町區生れ山本繁治へまり新きに顕然と來補、兩三日前より新きに顕然と來補、兩三日前より新 が融命になだめたがどう



尾繋トルコ購入、九脚といふ遠がい情四週以上十五週、カンガールン帽四週以上十五週、カンガール 来る廿一日土曜日午後七時半より 世界改青年曾館に於て法學博士杉 基督改青年曾館に於て法學博士杉 基督改青年曾館に於て法學博士杉 本書館に於て法學博士杉 杉村博士講演

冬一本

度使へば

きつと

御氣に召す

**炊事用品** 

自午一十一時 ラデス 株金井込催出及失権後生の

昭和四年十二月二十日 南滿洲鐵道株式會社

トラカンは最近幾分下火で矢襲り 外套標は顕に止めをさす、値は三 であるが、百画以上のものになる であるが、百画以上のものになる

大連でも伸起に入り窓壁部が禁 で十度近く降下すると、大和尚山 で飛ばして吹きまくる日など死に 手外に活動する人々に毛皮はしさ

は 1 ウインドの一方と店の一部分を かや人毛皮商がロシヤ美人の優子 シャ人毛皮商がロシヤ美人の優子 でいた いっぱい から出張販売のロ

的安くない、理由は列の質器物價低落の間に毛皮更けといい。理由は列の質に変の間に毛皮更け

から出張のロシヤ人がま

たま違いを生じ、製品で に手違いを生じ、製品で に手違いを生じ、製品で

間から三、四十国位まで、色も深 門から三、四十国位まで、色も深 白、黒、暗褐色など種々である。 ウス、テンなども個殴は大同小異 で、子供轄は二側五十銭城一、緑 人用毛斑外繋などもロシヤ人の費

ル時と加ひすま

毛成の責出しをやつてゐるが、支 単成の責出しをやつてゐるが、支 其無伊勢町のパレー節音、機速

昨今一番よく夏れるものなっても男の帽子で、子供

マネキンは本日

東京へ歸ります

午午午正午後後 前

ンを御覽遊ばさない方は是非御覽下さい當日は二十日は連鎖店街森洋行へ最後の出演をいたし ますからまだマ

御來覽下さい。マ永キンに關する展覽館はした方も一度ゼセを店内に催して居ります既にマネキンを御覽遊ばした方も一度ゼセ 大連銀座通り

箱根遊覽 グ夫妻の ホテルで

近頃關東廳

山梨前總督が 瀆職罪構成まで

課長級、民政署長、警察署長など

藤原鐵太郎氏は勇退

藤原氏の略歴

一てある 【寫眞は滕原氏】

記で高文試験で高文試験

釜山取引所新設と東楽識泉域下げが大将の腹心肥田理寺と用郷つてが大将の腹心肥田理寺と用郷つてが大将の腹心肥田理寺と用郷つてのはブロー

れより九時二十分再び一行は自動 事で山霧深い縦機路を営の下に向 ひ十時富士屋ホテルに到着一疲れ ひ十時富士屋ホテルに到着一疲れ 

先に出て茶目振りを發揮した、

車に乗込み東京に向った

に新人物を當て、局長は保安職長 いので、そればは職長の椅子を載れて居るが、今時は高等職長 を兼ねて居るが、今時は高等職長 を兼ねて居るが、今時は高等職長 の椅子を載

て闘朝直に旅順民政署長に任じ今一年課長を經、十五年歐米を視察して高等官三等に陞叙され關東騰衞嗣東騰衞

語氏は 内地に駆性、代つ 長和田秀夫、率天署長乾武の

野か既長藤田 個治郎、保安跳がら、大體新陳代謝と内地とから、大體新陳代謝と内地とから、大體新陳代謝と内地と

ることになってゐるが、獸狗局で鬼性氏、慰田崎山縣保安課長、田田

中に佐竹三吾氏並に久須美東馬氏 あるが、問題となった五萬圓に就織事の説間を受けたが、氏の陳述 萬圓もそれら、返却せしめたので後藤、被津久の三名が枚受した六 後藤、被津久の三名が枚受した六 奉公袋

衣を忘れた

を許さる

正午で打切り

細君と別れを惜みすぎ遺去り 八氣狂ひ

中八月出観した定郷船香港

香港丸が残した挿話二つ 午前出帆の外國船ゴールド號にて

天潮丸の出帆延ぶ

大連丸定期出帆

當店特製の銘仙を着し ネキン • しまし 一十日午前十一時ョ

なく御來店下さい特價品も澤山御座いますマネキンは今夜の汽車で歸りますから御見落し 春山千代子孃が 最後の出演を致します 

なほ今日の取職べは小棚氏には刑時五十分闘宅を許したものであるい。

豫郷の影響人としては

御下問に

図船が川帆したので豫足を製更夫 名噺を惜んであたが、その間に外

法相奉答

間あらせらるべく凝逸沈相を御召につき畏き邊では事件内容を御下につき畏き邊では事件内容を御下

に相成りたるにつき、法相は午後 出処事件の内容一切を奏上御下間 出処事件の内容一切を奏上御下間 出処事件の内容一切を奏上御下間

山梨に對した

各所に頻發

の他の利職に就ての承諾に繋ず」の他の利職に就ての承諾に繋ず」 職を得る目的で提供したものであた。 これに歌し脂肪及その馬酔の者は「利 傷のやうな

第一子を確当い。富士新年號にありた倉田観覧氏の話。張とを記ればと た倉田観覧氏の話。張と敷ればと た倉田観覧氏の話。張と敷ればと 本當の話

る」と供述し、その他併置一切が 大勝の強減を裏書するに充分とな で記に断然起訴を見るに至一

に訪へば大將に代り義弟江原氏は 世訴された山梨大將を鎌倉の別班 世間は冷淡 義弟江原氏談

なれば疑ひを受けてゐるのだから当廷へ出て事實を明かにする。 外はありますまい、『梨は陸軍大將として法廷にも出ませらして法廷にも出ませらして法廷にも出ませらして法廷にも出ませらしてませう、世間は色々と取か法でませり、当が薄いやらですが、身に疾ましい事が無ければ大將の英職も拾い事が無ければ大將の英職も拾い事が無ければ大りの英職も拾い事が無ければ大りの英職も拾い事が無ければ大りの英語を表している。

本籍兵庫縣印南郡米田町駅市岸本

拐帶店員逮捕

一時五十分市内壹岐町二十七番地 「大店」は、一日町車は七川五十銭の連貫・「大店」は、一日町八九州 「大店」は、一日町八九州 「大店」は、一日町八九州 「大店」は、一日町車とができた。また十七日午後、一日町車とができた。また十七日午後、一日町車とができた。また十七日午後、一日町車とができた。

十七日午前十時代ごろ市内信濃町 九三番輪先に於いて市内松山町一 七自鵬軍運輸手隅田卯一(ま)の操 様するトラックは耐識五船(増)五 の傷を負はせた、また十七日午後

人工さんのよろこび

界各

图

酒

食

料

00

(建築家になる近道)

東京風菓子謹製 暮 最も 品品 連

適當の御品

日本各地名産: 東西各國の名産相揃へ 軍 OD U 五三

八声道 イワキ町八九西通筋角 博多屋衣

0

青島上海行「華山丸」 古事 大阪商船株式

開東九